

だれでもできる デキスパート基本部

目 次

□ デキスパート基本部について

データ管理 / バックアップについて	1
01 デキスパート基本部の画面構成	3
02 デキスパートの特徴	4

□ キーコード

03 キーコードを入力する	5
---------------	---

□ 工事データ

04 新規工事を作成する	6
05 工事情報を編集 (変更) する	8
06 設計書管理機能を使用する	9
07 工事を絞り込んで表示する	10
08 工事を削除する	11
09 削除した工事を元に戻す	12
10 データフォルダを変更する	13
11 使用中のデータを解除する	14
12 インストールフォルダの共有設定を 変更する	15

□ データ管理 / バックアップ

13 工事データを複写する	16
14 工事データを取り込む	19
15 工事データをメールで送信する	22
16 メールデータを取り込む	25
17 工事データをクラウド上に バックアップする	28
18 工事データを合成する	31
19 工事データ・マスタを一括保存する	35
20 工事データ・マスタを一括取り込みする	39
21 マスタデータを保存する	42
22 マスタデータを取り込む	44
23 ネットワーク上のマスタファイルを コピーする	46

□ その他

24 お知らせ・発注機関情報を確認する	52
25 自動アップデートを設定する	54
26 ソフトウェアのボタンを並び替える	55
27 画面のレイアウトを変更する	56

データ管理 / バックアップ を使用する際の「よくあるケース」

[データ管理 / バックアップ]では、デキスパートで取り扱うデータを他のパソコンとやり取りしたり、USBなどのメディアにデータを保存するための作業を行います。



工事選択で登録した工事名や工期、請負者名などの工事に関する詳細情報と、各ソフトウェアで入力した工事に関するデータのことで、

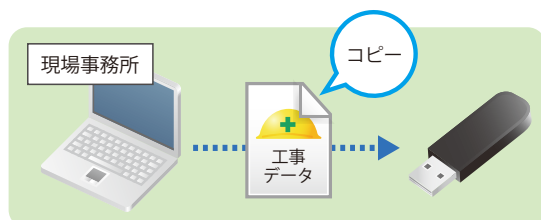


施工管理基準マスタや略図ファイル、各ソフトウェアで使用するテンプレートなどのことです。マスタデータは使用するパソコンに保存されているため、工事を切り替えても表示されるデータは変わりません。パソコン単位で持っているデータです。

よくあるケース 1

現場事務所のパソコンで作成した「工事データ」を USB メモリに保存して、別のパソコンで取り込みたい

- 1 工事データを USB メモリにコピーします。
- 2 コピーしたデータを別のパソコンで取り込みます。



操作手順 P16 工事データを複写する

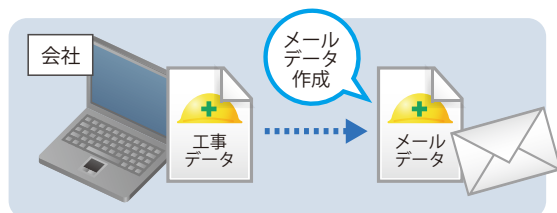


操作手順 P19 工事データを取り込む

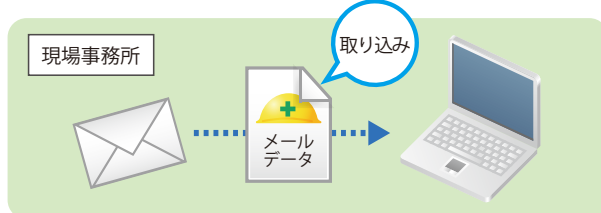
よくあるケース 2

会社のパソコンから、現場事務所のパソコンへ「工事データ」をメールで送りたい

- 1 メール添付用の工事データ（メールデータ）を作成し、メールします。
- 2 届いたメールデータを取り込みます。



操作手順 P22 工事データをメールで送信する



操作手順 P25 メールデータを取り込む

よくあるケース 3

自分のパソコンの「工事データ (A)」に、他のパソコンの「工事データ (B)」を取り込みたい
(協力事業者とのデータのやり取りなどにご利用ください。)

- 1 工事データ (A) に工事データ (B) を取り込み、合成工事データ (A+B) を作成します。

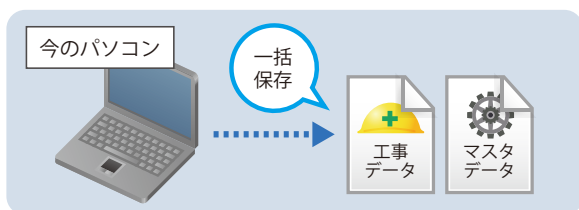


操作手順 P31 工事データを合成する

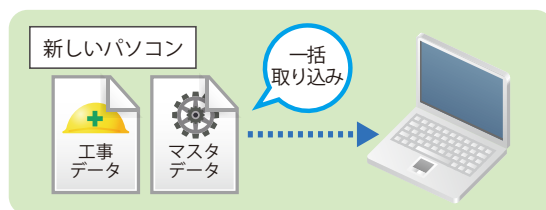
よくあるケース 4

新しいパソコンを購入するため、今のパソコンのデキスパートで作成した「工事データ」「マスタデータ」を保存しておきたい

- 1 工事データ、マスタデータを一括で保存します。 2 保存したデータを一括で取り込みます。



操作手順 P35 工事データ・マスタを一括保存する



操作手順 P39 工事データ・マスタを一括取り込みする

その他のケース



- 古いパソコンから新しいパソコンに移行したい
- デキスパートで使用している工事データ以外のデータをバックアップしたい

操作手順 P42 マスタデータを保存する



- ネットワーク上の別のパソコンからマスタデータを直接取り込みたい
- 古いパソコンのマスタデータを新しいパソコンに移行したい

操作手順 P46 ネットワーク上のマスタファイルをコピーする



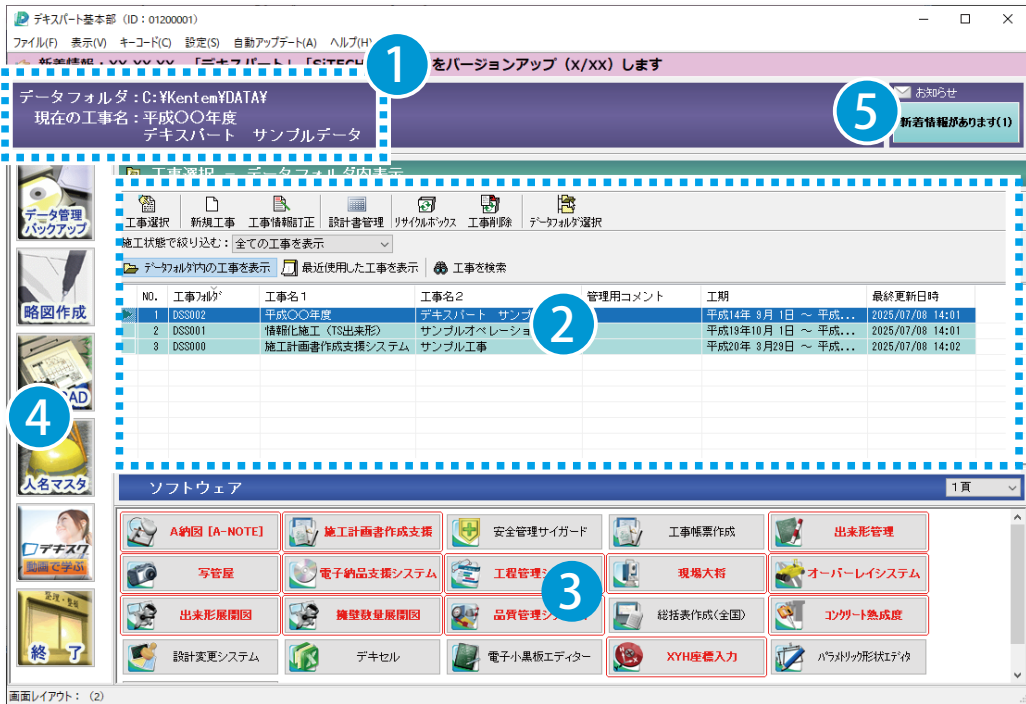
- 工事データをクラウド上にバックアップしたい
※ KS データバンクをご契約のお客様に限り、使用できる機能です。

操作手順 P28 工事データをクラウド上にバックアップする

デキスパート基本部の画面構成

デキスパート基本部の画面構成です。

デキスパート基本部のメイン画面



① データフォルダ / 現在選択中の工事データ表示

データフォルダは、工事データの保存先です。
1つのデータフォルダには、リサイクルボックス内の工事も含め、最大 200 個まで登録することができます。

④ サイドメニュー P16 ~ P51

工事データの管理や、「略図作成システム」「修飾 CAD」などのデキスパート基本部に付属しているソフトの起動や「デキスク」のホームページが開きます。

② 工事名一覧 P6 ~ P14

登録した工事データが表示されます。
上部には、新規工事データの作成や、すでに登録した工事情報を訂正できるボタンが配置されています。

⑤ 建設システムからのお知らせ P52

リリース・バージョンアップ情報や、基準(案)の改訂に伴う各発注機関の情報など、建設システムからのお知らせを確認できます。

③ ソフトウェア (オプション) ボタン P55

デキスパート基本部画面の下部にはソフトウェアのボタンが配置されます。
ボタンをクリックすると、ソフトウェアが起動します。

デキスパートの特徴

LAN 版プロテクタが接続されている環境では、LAN を介して他のパソコンで LAN 版プロテクタを認識できます。

①「LAN版プロテクタ」について

「パソコン A」に装着した LAN 版プロテクタを同一 LAN 環境の他のパソコンでも認識することができるので、他のパソコンでも帳票の印刷やファイルの出力ができます。

※同一のネットワークワークグループ内が必須となります。

※入力稼働台数は無制限です。



②「印刷ライセンス」について

同一 LAN 環境から切り離れた「パソコン A」では、LAN 版プロテクタを認識できません。

印刷ライセンスを装着すると、LAN環境から切り離れたパソコンでも帳票の印刷などができます。

※事前に NET ライセンスを認証している場合は、印刷ライセンスを接続しなくても帳票の印刷などができます。



プロテクター認識における注意点

- ・印刷・提出用のデータ出力を行う場合は、LAN 版プロテクタを接続しているパソコンで必ずプロテクトサーバーを起動してください。
- ・LAN 版プロテクタが接続されているパソコンと同一のネットワークグループ内でのみ、プロテクタ認識が可能です。「ドメインとワークグループ」と「ワークグループ1と2」というような複数のグループ間での LAN 版プロテクタは認識できません。

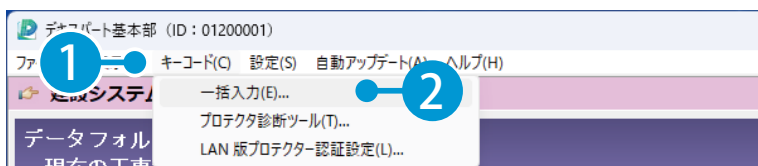
キーコードを入力する

デキスパート基本部や各ソフトウェアのキーコードを入力します。

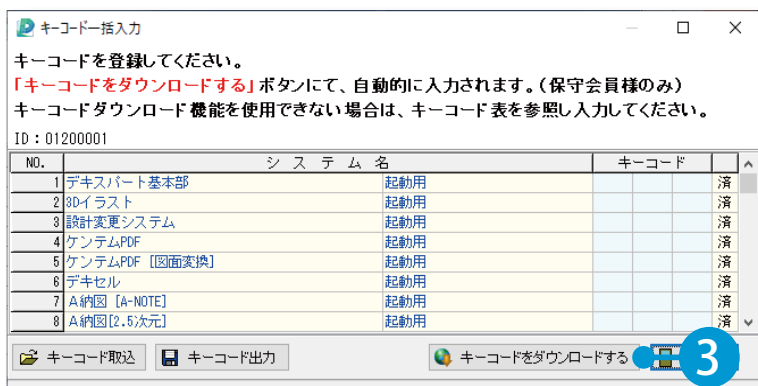
キーコードの入力時は、プロテクターの認識が必要です。

01 | キーコードを入力します。

1 メイン画面のメニューバーから [キーコード] → [一括入力] をクリックします。



2 [キーコードをダウンロードする] をクリックします。



※キーコードダウンロードは、デキスパート保守会員様専用のサービスです。

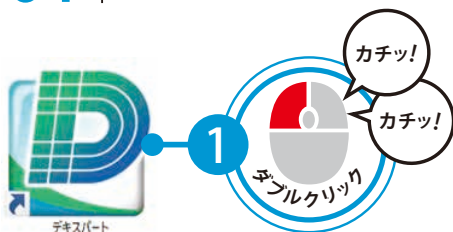
ご利用には、インターネット回線への接続が必要となります。

※キーコードは、直接入力することも可能です。

新規工事を作成する

デキスパート基本部を起動し、新規工事を作成します。

01 | デキスパート基本部を起動します。



アンケート画面の表示について

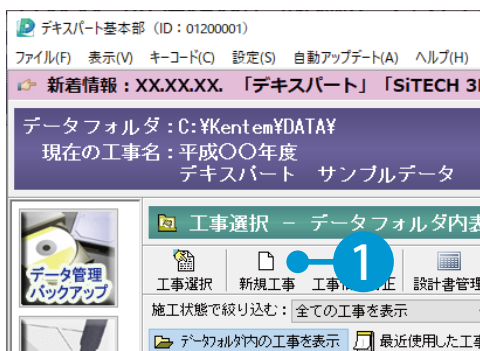
ご利用のデキスパートのバージョンによって、起動時にアンケート画面が表示される場合があります。
生まれ年・性別・ソフトをご利用になる都道府県を設定し、[OK]をクリックしてください。

※[キャンセル]をクリックした場合は、次回起動時也表示されます。

※アンケートは、今後の弊社製品およびサービス向上のための参考情報として活用させていただきます。

02 | 新規工事を作成し、工事情報を入力します。

1 [新規工事] をクリックします。



2 工事情報を入力します。

工事情報を入力してください。

管理用コメント:

※同一の工事名で複数の工事を作成する際、管理し易いようにコメントを入力してください。

☒ 施工中 ☐ 施工完了

☐ 西暦入力 ☒ 和暦入力

工期 自 平成 23 年 7 月 15 日
至 平成 24 年 8 月 31 日

工事番号>

工事名1> 平成〇〇年度 デキスパートサンプル工事

工事名2>

施工箇所> 静岡県沼津市植田地内~静岡県富士市柏原地内

請負者名> 株式会社 ○×建設

監督官>

出張所>

主任技術者> 夏目漱石

現場代理人> 樋口一葉

路線・河川名> 国道×××号

事務所名>

※システム、書式により全ての文字が表示・印刷できない場合があります。

3

CORINS ファイルからデータを取り込むには？

[CORINS 取込] をクリックし、CORINS ファイルを取り込みます。

工事情報入力 (新規工事作成)

工事情報を入力してください。

管理用コメント: _____

※同一の工事名で複数の工事を作成する際、管理し易いように

CORINS取込 積算情報取込

取り込めるファイルの種類

・XML ・CFD ・txt

取り込まれる項目

・工期 自 ・工期 至 ・工事名
 ・施工箇所 ・請負者名 ・主任技術者
 ・現場代理人 ・路線 ・河川名

積算情報ファイル (CKD・KSDX) からデータを取り込むには？

[積算情報取込] をクリックし、積算情報ファイル (CKD・KSDX) を取り込みます。

工事情報入力 (新規工事作成)

工事情報を入力してください。

管理用コメント: _____

※同一の工事名で複数の工事を作成する際、管理し易いように

CORINS取込 積算情報取込

積算情報ファイルは、各関連ソフトウェアからも取り込むことができます。
 ただし、関連ソフトウェアからはファイルの取り込み直しはできません。
 ファイルを取り込み直す手順は下記をご覧ください。

積算情報ファイル (CKD・KSDX) を取り込み直すには？

1 [工事情報訂正] をクリックします。

デキスパート 基本部 (ID: 01200001)

ファイル(F) 表示(V) キーコード(C) 設定(S) 自動アップデート(A) ヘルプ(H)

新着情報: XX.XX.XX. 「デキスパート」 「SITECH 3」

データフォルダ: C:\Kitem\DATA\

現在の工事名: 平成〇〇年度
デキスパート サンプルデータ

データ管理バックアップ

工事選択 - データフォルダ内

工事選択 新規工事 工事情報訂正 設計書

施工状態で絞り込む: 全ての工事を表示

データフォルダ内の工事表示 最近使用した

2 [積算情報取込] をクリックします。

工事情報入力 (新規工事作成)

工事情報を入力してください。

管理用コメント: _____

※同一の工事名で複数の工事を作成する際、管理し易いようにコメントを

CORINS取込 積算情報取込

3 [ファイル選択] をクリックし、積算情報ファイルを選択し直します。

確認

国道〇号線 道路改良工事

NO.	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7
1	土工事						
2		盛土・擁壁					
3			擁壁基礎工				
4				現場打ち			
5					右岸擁壁基礎工		
6						コンクリート人力打設	養生工
7						型枠工	
8						基礎砕石工	バック材運搬
9							
10					法面表層工		
11						現場打基礎コン	養生工
12							
13							
14							
15		道路改良					
16			道路土工				

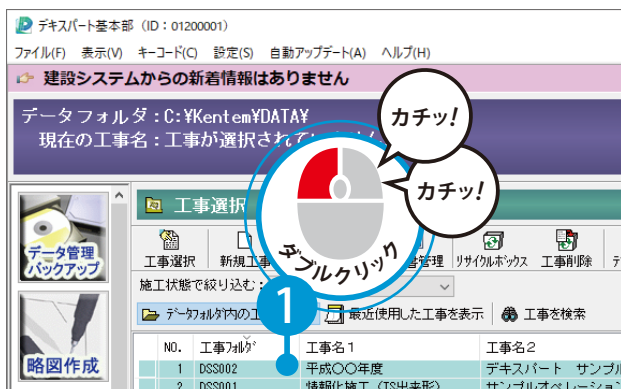
ファイル選択

工事情報を編集(変更)する

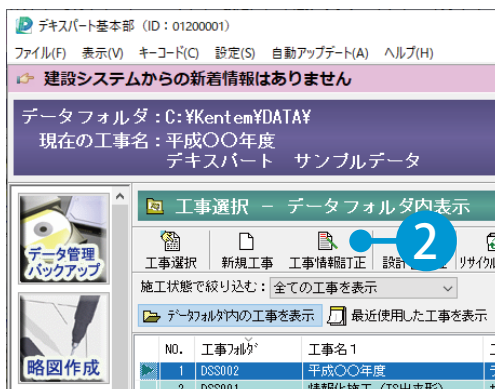
登録済みの工事の情報を編集(変更)します。

01 | 工事情報入力画面を表示し、工事情報を編集(変更)します。

1 工事一覧から、編集(変更)する工事を選択します。



2 「工事情報訂正」をクリックします。



3 工事情報を編集(変更)します。

工事情報入力 (新規工事作成)

工事情報を入力してください。

管理用コメント :

※同一の工事名で複数の工事を作成する際、管理し易いようにコメントを入力してください。

☒ 施工中 ☐ 施工完了
☐ 西暦入力 ☒ 和暦入力

工期 自 平成 23 年 7 月 15 日
 至 平成 24 年 8 月 31 日

工事番号 >

工事名1 > 平成〇〇年度 デキスパートサンプル工事

工事名2 >

施工箇所 > 静岡県沼津市植田地内~静岡県富士市柏原地内

請負者名 > 株式会社 ○×建設

監督官 >

出張所 >

主任技術者 > 夏目 潔石

現場代理人 > 樋口 一葉

路線・河川名 > 国道×××号

事務所名 >

※システム、書式により全ての文字が表示・印刷できない場合があります。

4

3 編集

設計書管理機能を使用する

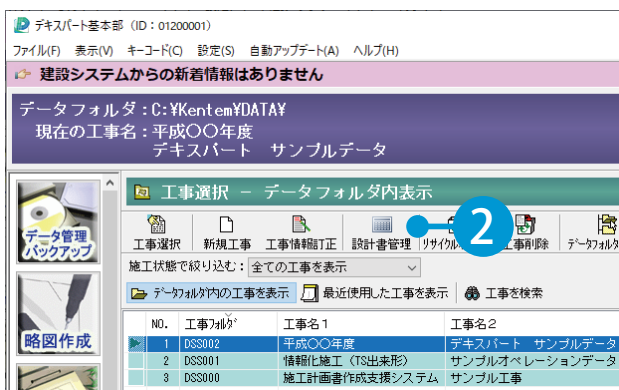
設計書管理機能を使用します。

01 | 設計書管理画面を表示します。

1 工事一覧から設計書データを管理する工事を選択します。



2 [設計書管理] をクリックします。



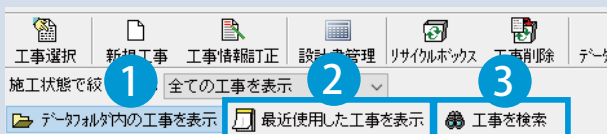
設計書管理の操作について

設計書管理の詳細な操作については、「設計書管理基本操作マニュアル」をご覧ください。

工事を絞り込んで表示する

工事一覧に絞り込んだ工事を表示します。

工事の表示方法は、3種類あります。

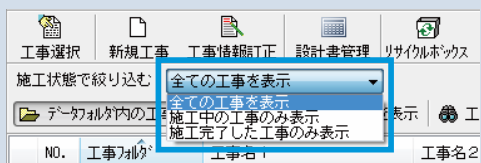


1 「データフォルダ内の工事を表示」する

現在選択しているデータフォルダに登録されている工事を表示します。

施工状態で絞り込む場合

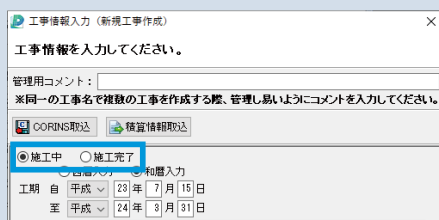
データフォルダ内の工事を表示している場合、施工状態で絞り込むことができます。



- ・「全ての工事を表示」
- ・「**施工中の工事のみ表示**」
- ・「**施工完了した工事のみ表示**」

から任意の項目を選択します。

工事の施工状態（施工中・施工完了）は、工事情報入力画面で設定できます。



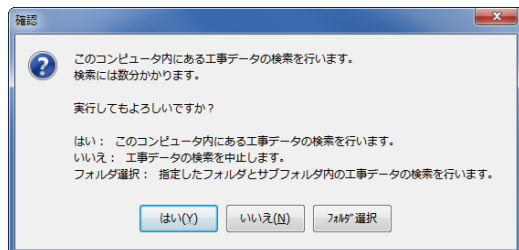
2 「最近使用した工事を表示」する

最近使用した工事が履歴として 50 件まで残り、確認することができます。

同一工事を使用した場合は、新しい履歴のみ残ります。

3 「工事を検索」する

コンピューター内、または指定したフォルダー内に登録されている工事を検索します。



「使用中のコンピューター内に登録されている工事を検索する」場合

[はい] をクリックします。

「指定したドライブやフォルダー内に登録されている工事を検索する」場合

[フォルダ選択] をクリックし、検索先を指定します。

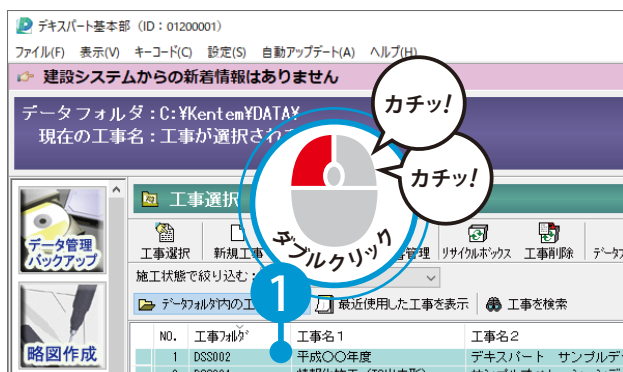
工事を削除する

工事一覧から工事を削除します。

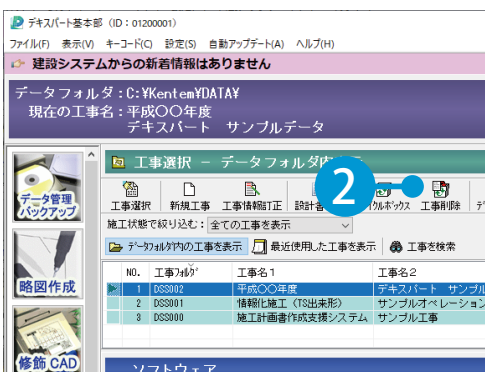
削除した工事は、リサイクルボックスに移動します。

01 | 工事を削除します。

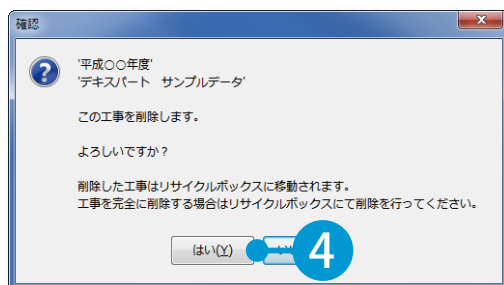
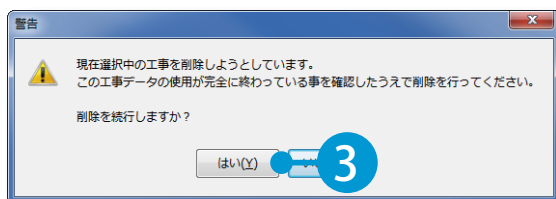
1 削除する工事を選択します。



2 「工事削除」をクリックします。

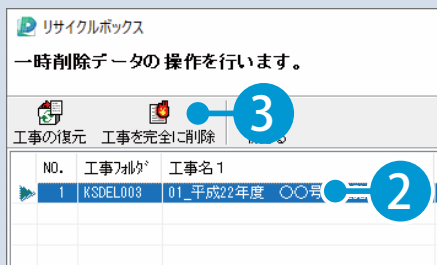
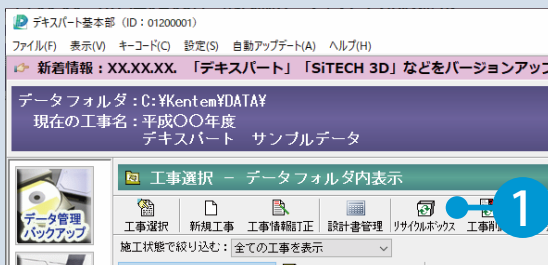


3 「はい」をクリックすると、「リサイクルボックス」に移動します。



工事を完全に削除する場合

「リサイクルボックス」から削除する工事を選択し、「工事を完全に削除」をクリックします。



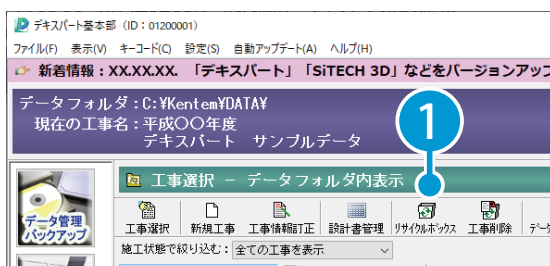
※完全に削除すると復元することができませんので、ご注意ください。

削除した工事を元に戻す

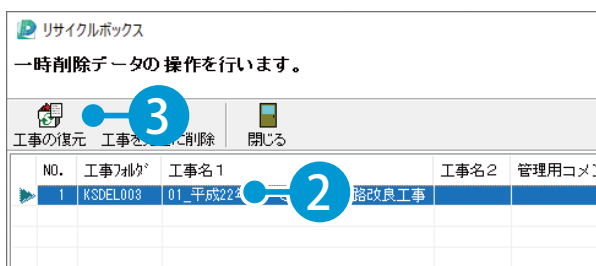
リサイクルボックスに一時保存された工事を、工事選択の一覧に復元します。

01 | 削除した工事を復元します。

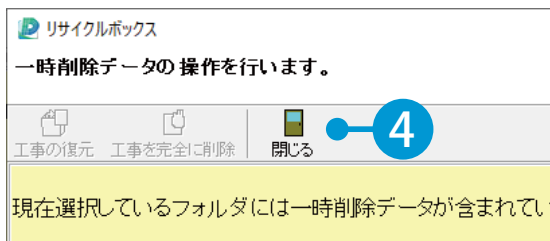
1 [リサイクルボックス] をクリックします。



2 復元する工事を選択し、[工事の復元] をクリックします。



3 [閉じる] をクリックします。



02 | 工事一覧に表示されます。



データフォルダを変更する

データフォルダ(工事データの保存先)を変更します。

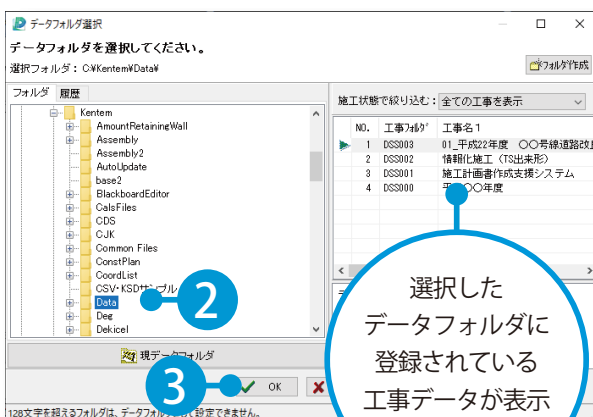
01 | データフォルダ(工事データの保存先)を変更します。

1 [データフォルダ選択] をクリックします。

2 データフォルダを選択します。



現在選択
中のデータ
フォルダ

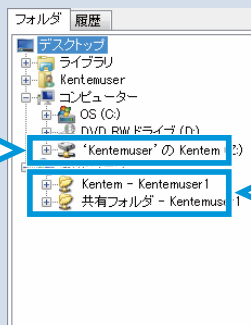


選択した
データフォルダに
登録されている
工事データが表示
されます。

ネットワーク上の任意フォルダを選択する場合の注意点

ネットワーク上の任意フォルダを選択する場合、ネットワークドライブやネットワークプレースから選択すると、データが正常に利用できない場合があります。

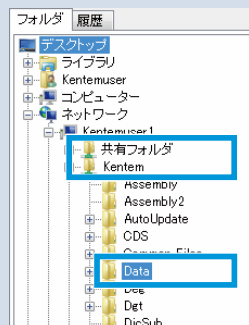
正常に利用できない場合のあるフォルダ



ネットワーク
ドライブ

ネットワーク
プレース

正常に利用できるフォルダ

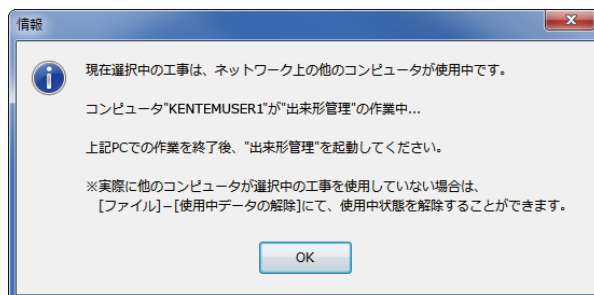


また、動作未確認の LAN 接続ハードディスク (NAS) の使用や WAN や VPN を経由した環境もデータが正常に利用できない場合がありますのでご注意ください。

使用中のデータを解除する

他のコンピュータで使用しているデータを解除することができます。

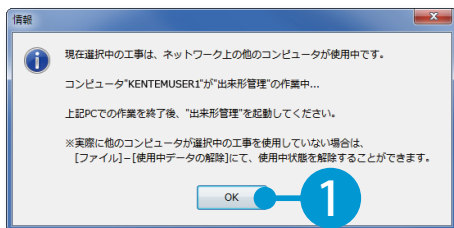
選択した工事を他のパソコンで編集していると、右記のメッセージが表示されます。



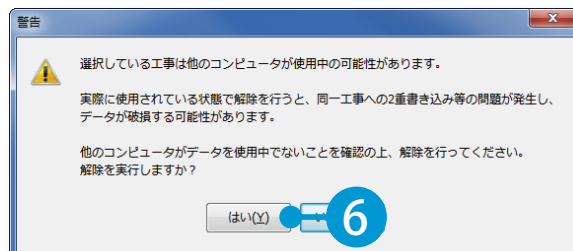
実際に他のパソコンで編集中にもかかわらず、使用している工事を解除してしまった場合、データが破損する可能性があります。他のパソコンが編集していないことを十分確認してください。

01 | 使用中のデータを解除します。

- 1 1 他¹のパソコンが使用していないことを確認し、[OK] をクリックします。
- 2 2 メイン画面のメニューバーから [ファイル] → [使用中データの解除] を選択します。



- 3 3 解除する工事を選択し、[解除] をクリックします。
- 4 4 [はい] をクリックします。



インストールフォルダの共有設定を変更する

デキスパートのインストール時に設定したインストールフォルダの共有状態を確認・変更します。

01 | インストールフォルダの共有設定を変更します。

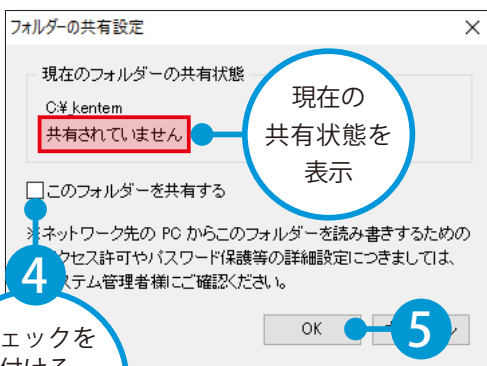
- 1 メイン画面のメニューバーから「ファイル」→「インストールフォルダの共有設定」を選択します。



- 2 「はい」をクリックします。



- 3 フォルダの共有状態を確認・設定します。



チェックを
付ける
または
はずす

⚠ フォルダが共有されていない場合

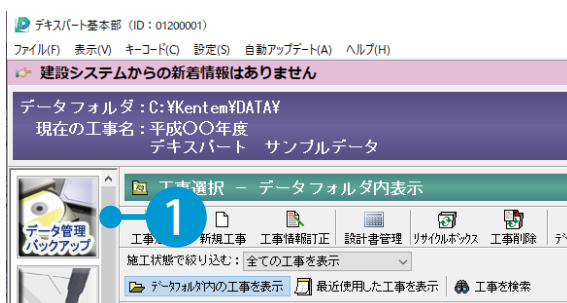
各パソコンで登録されているマスタや、データフォルダがネットワーク上で共有できない場合があります。

工事データを複写する

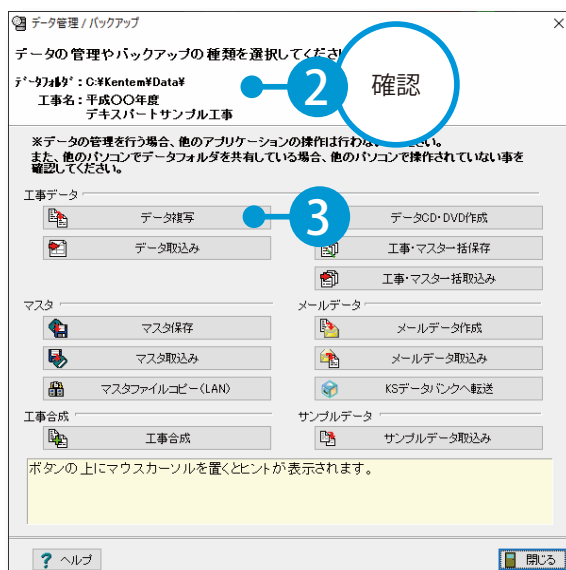
工事情報や各ソフトウェアで作成したデータを指定したフォルダーにコピーします。

01 | 工事データを複写します。

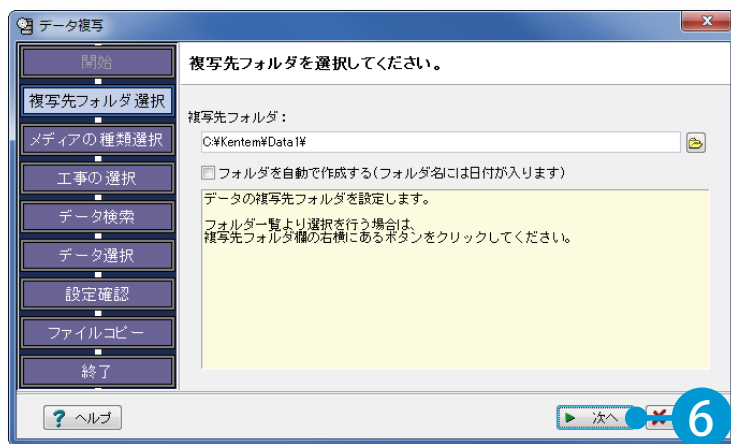
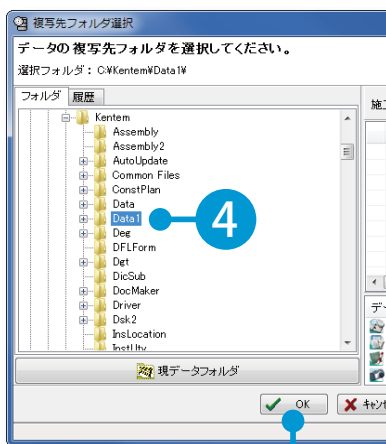
1 [データ管理 / バックアップ] を選択します。



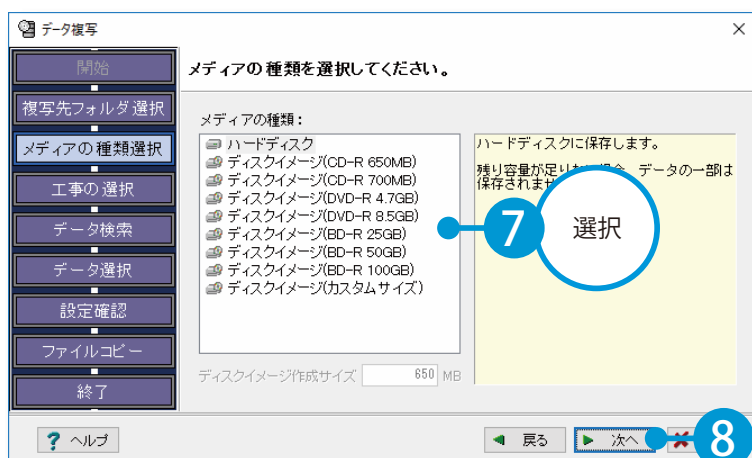
2 複写元となるデータフォルダを確認し、[データ複写] をクリックします。



3 複写先となるフォルダを選択します。



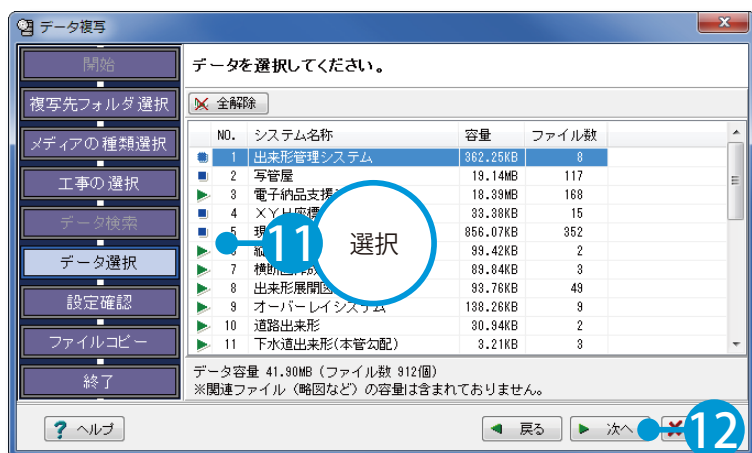
- 4 メディアの種類を選択します。
 ※ [3] の手順で USB メモリなどを直接指定した場合、この画面は表示されません。



- 5 複写する工事データを選択します。



- 6 複写する関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

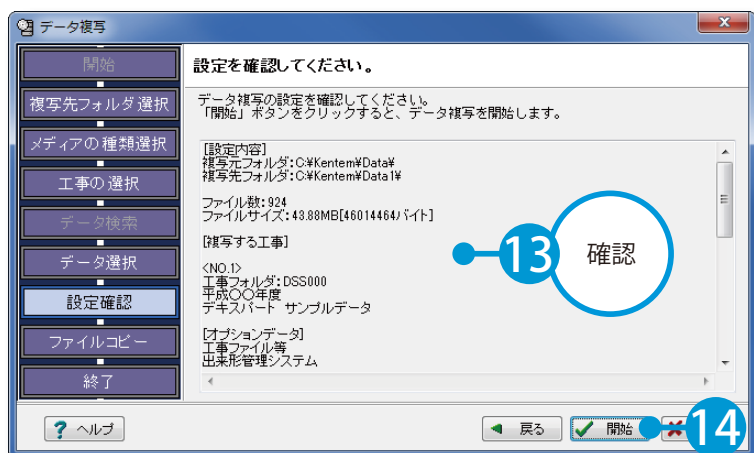
NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	362.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援システム	18.39MB	168
4	XYH座標	33.38KB	15
5	現場大将	856.07KB	352
6	縦断図作成	99.42KB	2
7	横断図作成	89.84KB	3

▶ 選択しているデータです。

■ データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

✖ 複写先のメディアサイズ、または空き容量より大きなファイルが含まれている場合にのみ表示されます。

7 設定内容を確認します。



8 工事データを複写できました。

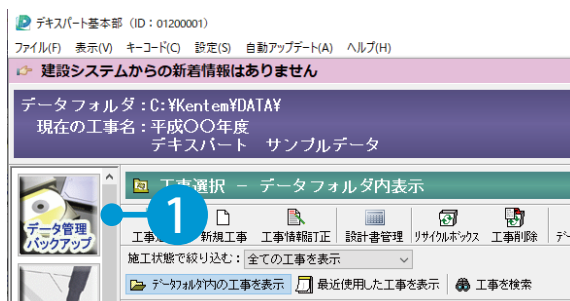


工事データを取り込む

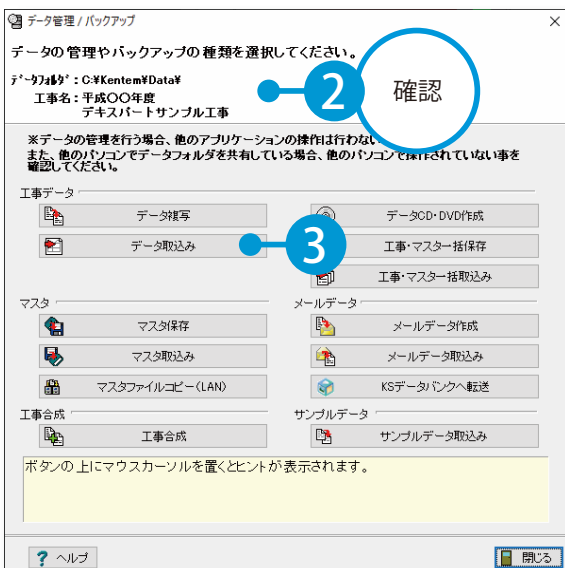
工事情報や各ソフトウェアで作成したデータを、指定したフォルダーから取り込みます。

01 | 工事データを取り込みます。

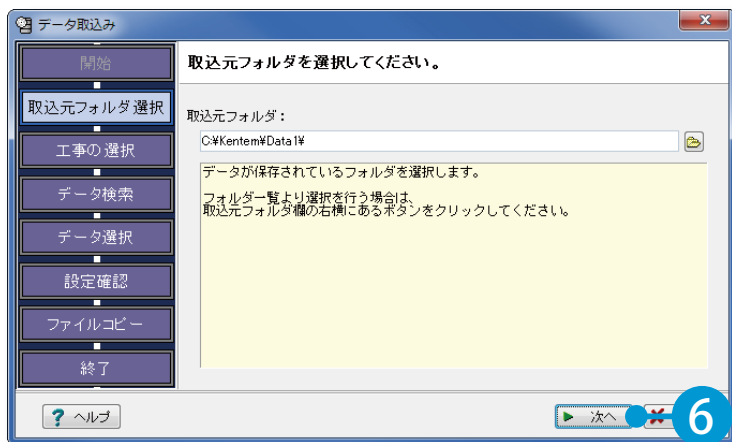
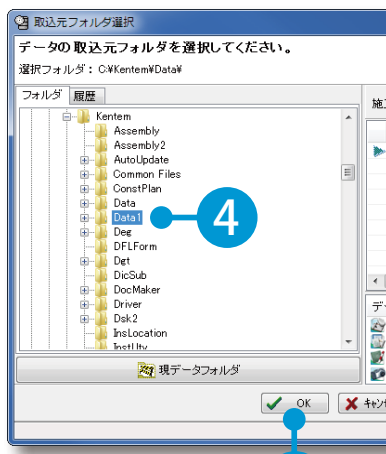
1 [データ管理 / バックアップ] を選択します。



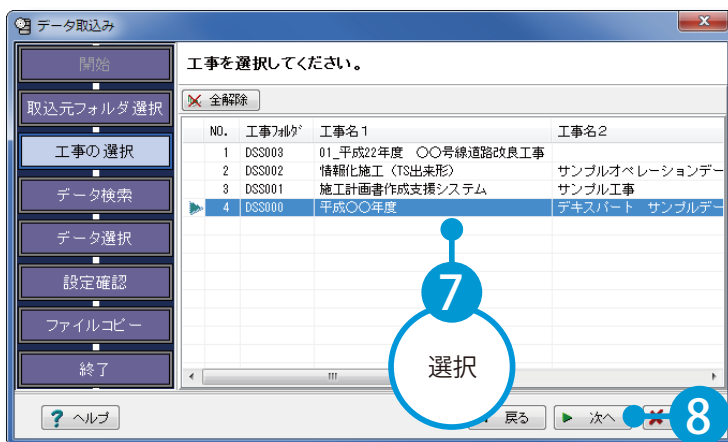
2 取り込み先のデータフォルダを確認し、[データ取込み] をクリックします。



3 取り込み元のデータフォルダを選択します。



4 取り込む工事データを選択します。



5 取り込む関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

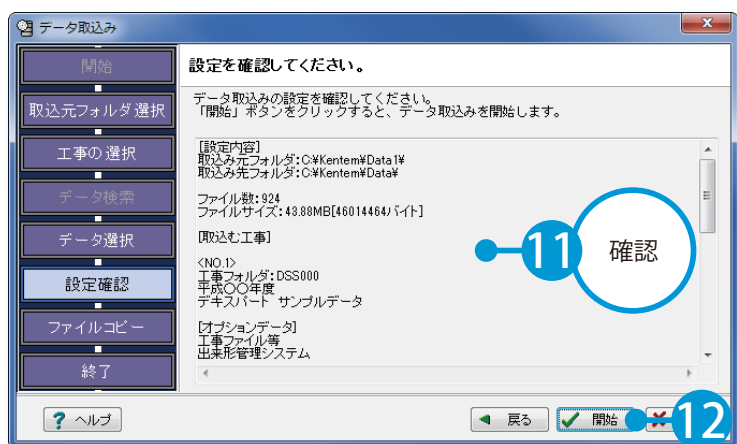
NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	362.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援システム	18.39MB	168
4	XYH座標	33.38KB	15
5	現場大将	856.07KB	352
6	縦断図作成	99.42KB	2
7	横断図作成	89.84KB	3

▶ 選択しているデータです。

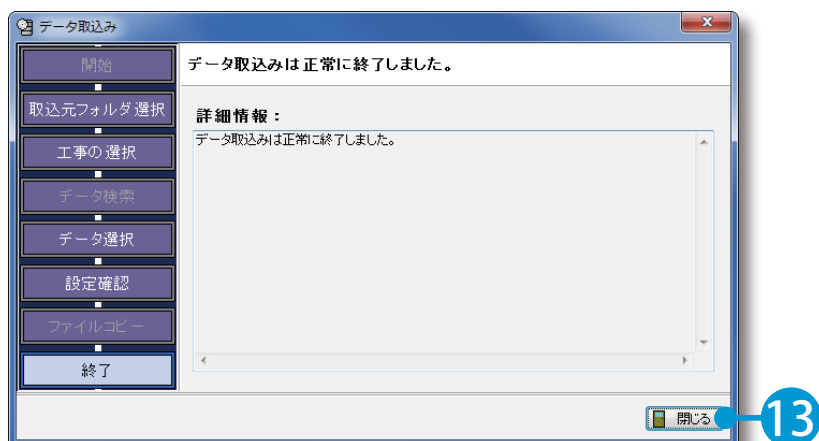
■ データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

✖ 取込先のメディアサイズ、または空き容量より大きなファイルが含まれている場合にのみ表示されます。

6 設定内容を確認します。



7 工事データが取り込まれました。

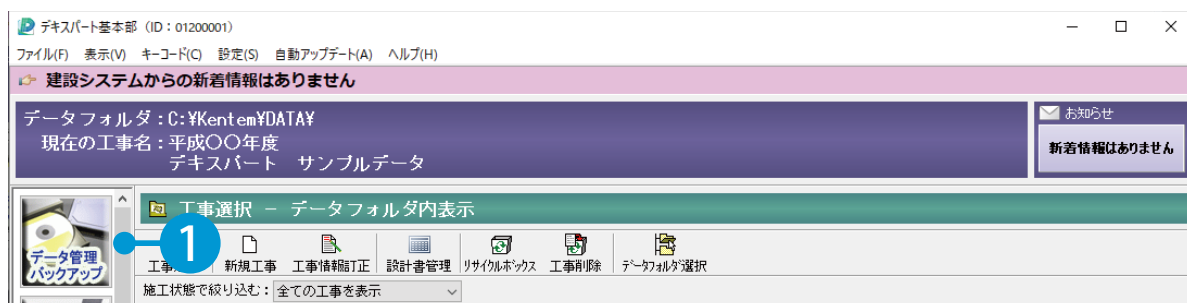


工事データをメールで送信する

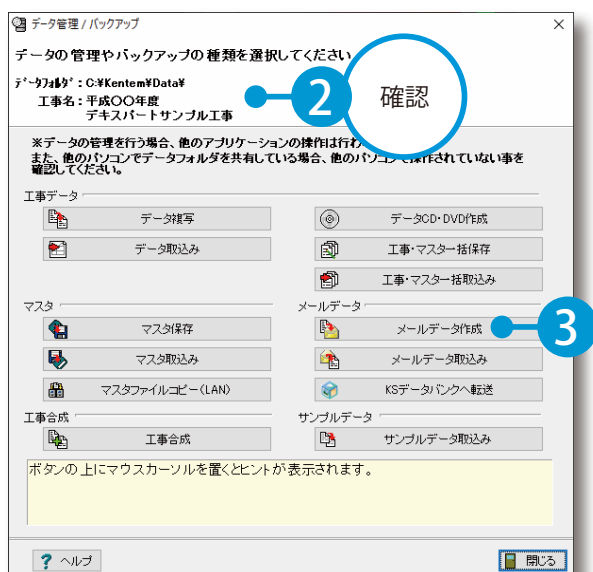
工事データをメールソフトに添付し、送信します。

01 | メールデータを作成します。

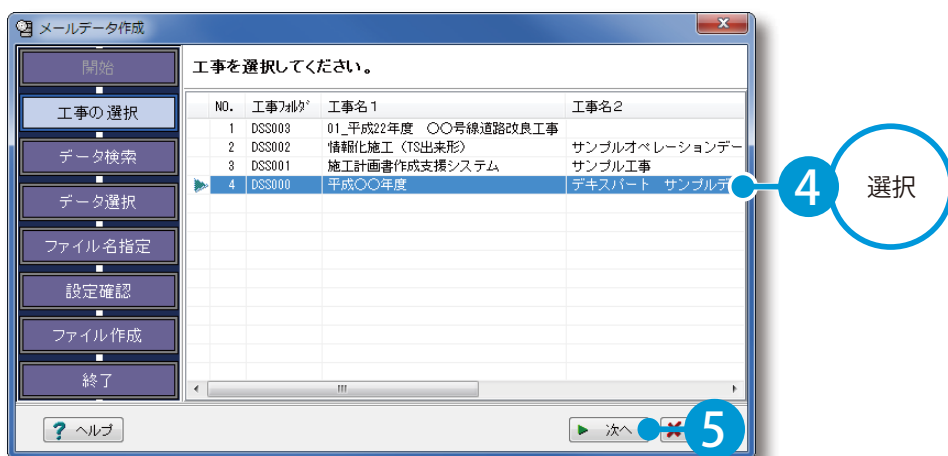
1 [データ管理/バックアップ] を選択します。



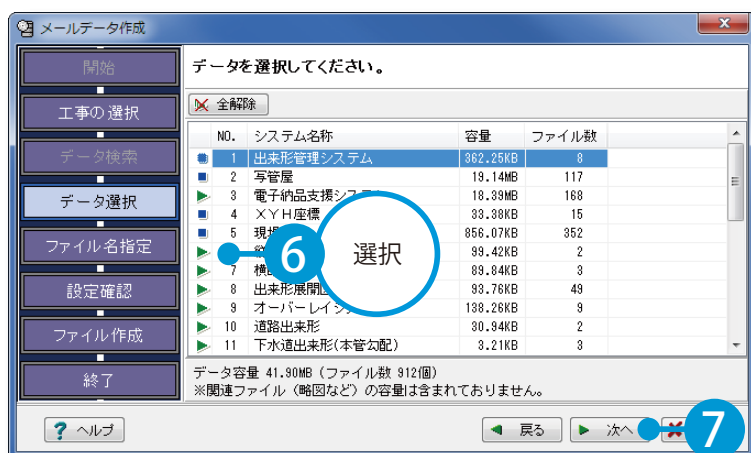
2 メールデータを作成する工事が登録されているデータフォルダが選択されているかを確認し、[メールデータ作成] をクリックします。



3 工事データを選択します。



4 関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

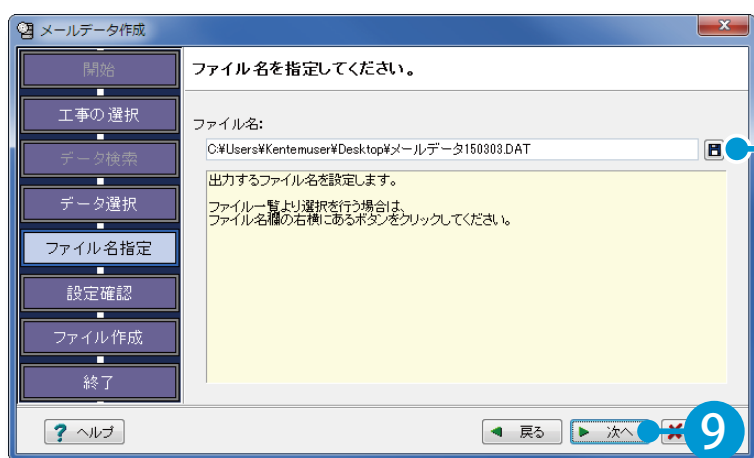
NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	362.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援システム	18.39MB	168
4	X・Y・H座標	33.38KB	15
5	現場大将	856.07KB	352
6	縦断図作成	99.42KB	2
7	横断図作成	89.84KB	3

▶ 選択しているデータです。

■ データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

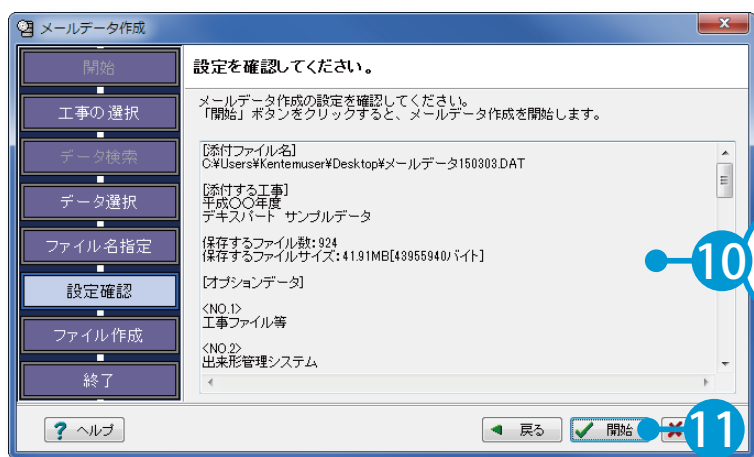
✖ 選択した工事に関連ソフトウェアのデータが何も登録されていない場合にも表示されます。

5 保存先・ファイル名を設定します。



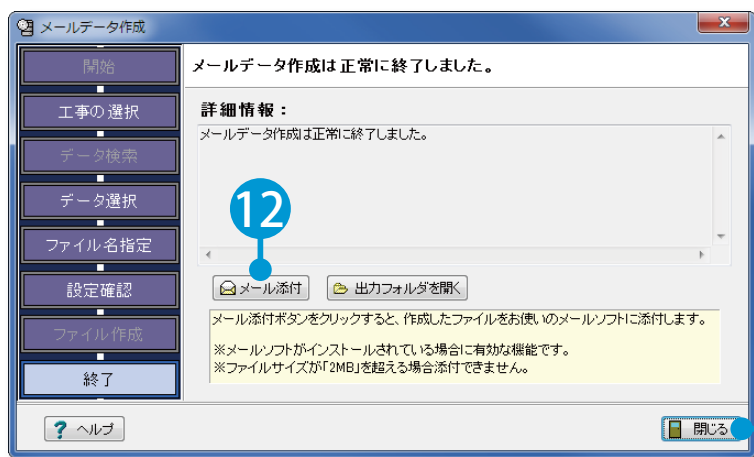
8 保存先選択
・ファイル
名入力

6 設定内容を確認します。



10 確認

7 メールデータが作成できました。



メール添付の注意点

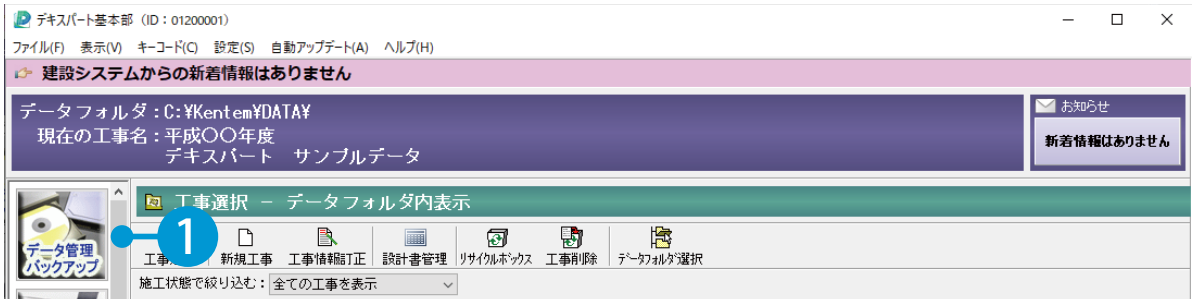
作成したメールデータをお使いのメールソフトに添付できます。ファイルサイズが「2MB」を超える場合はこちらから添付できません。メールソフトを起動してから添付してください。

メールデータを取り込む

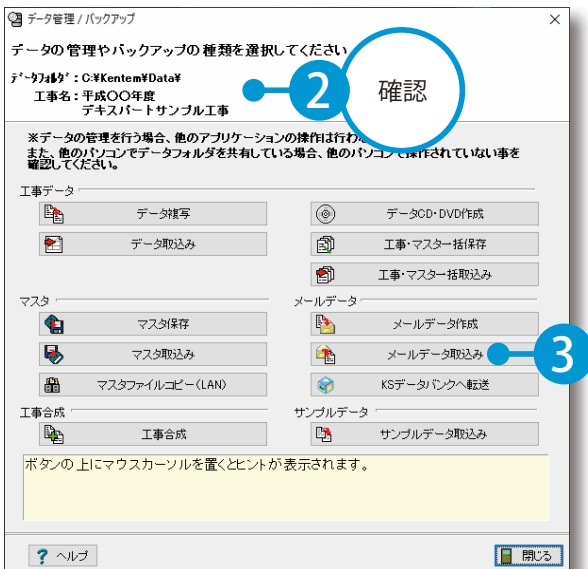
「メールデータ作成」で作成された工事データ（メールデータ）を現在選択中のデータフォルダに取り込みます。

01 | メールデータを取り込みます。

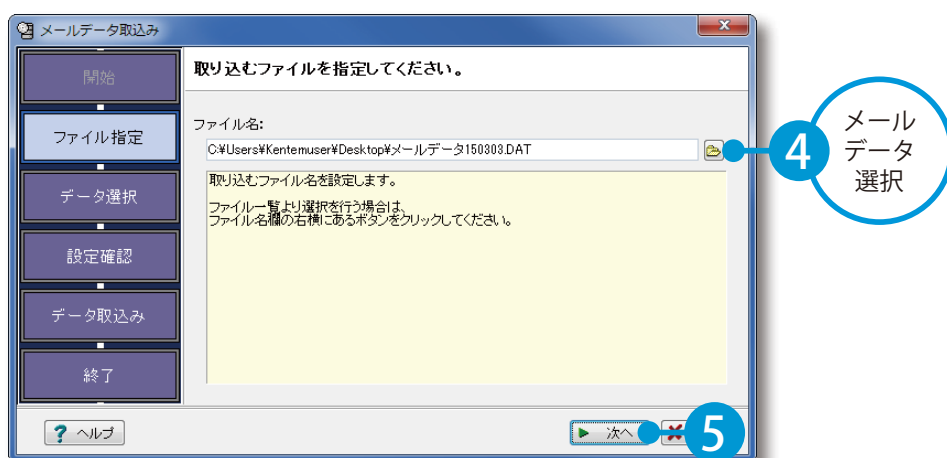
1 [データ管理 / バックアップ] を選択します。



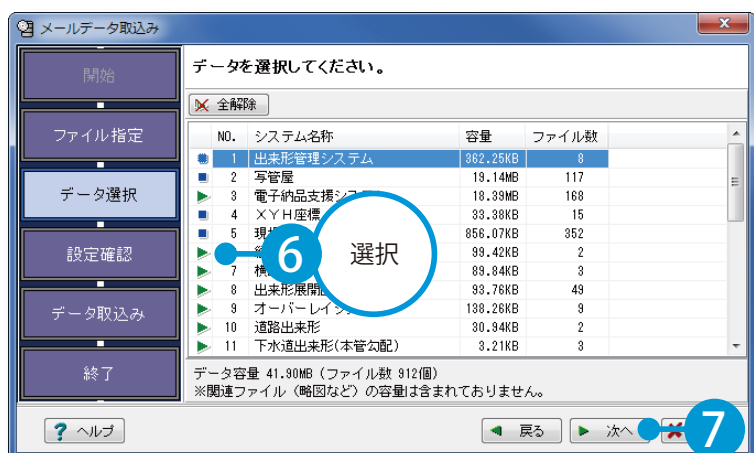
2 メールデータを取り込むデータフォルダが選択されているかを確認し、[メールデータ取込み] をクリックします。



3 取り込むメールデータを選択します。



4 関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

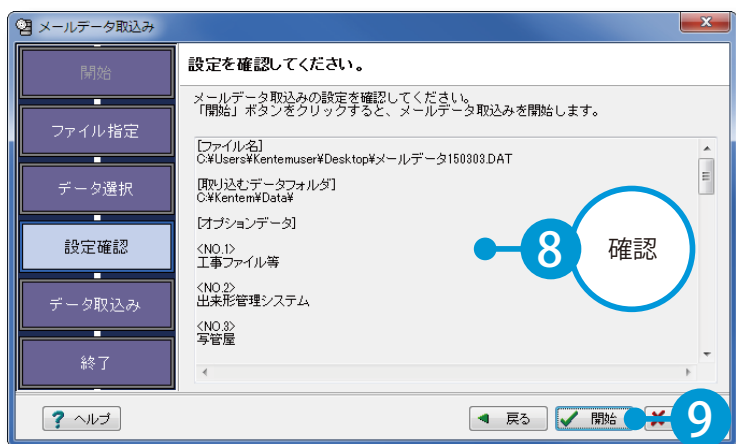
NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	362.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援システム	18.39MB	168
4	X-Y-H座標	33.38KB	15
5	現場大将	856.07KB	352
6	縦断図作成	99.42KB	2
7	横断図作成	89.84KB	3

▶ 選択しているデータです。

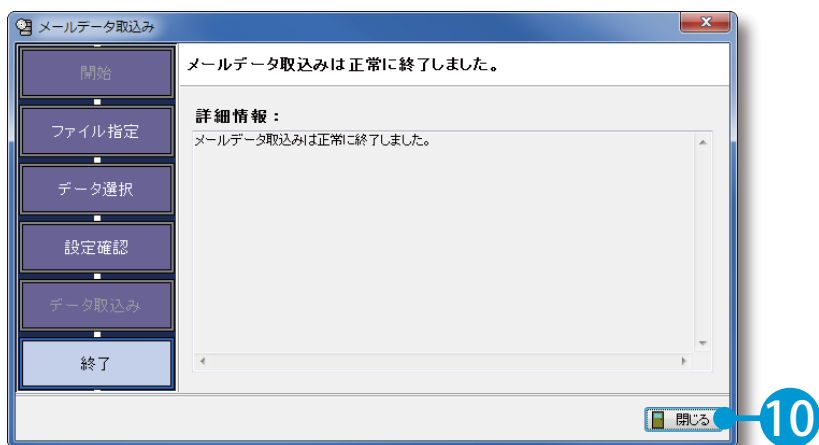
■ データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

✖ 選択した工事に関連ソフトウェアのデータが何も登録されていない場合にも表示されます。

5 設定内容を確認します。



6 メールデータが取り込まれました。



工事データをクラウド上にバックアップする

工事データをメールデータとしてKSデータバンクに転送し、バックアップします。

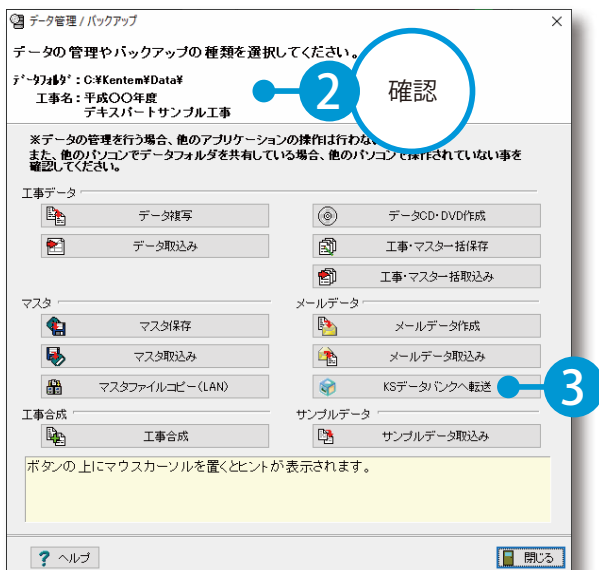
この機能は、「KSデータバンク」をご契約しているお客様に限り使用できる機能です。

01 | 工事データをバックアップします。

1 [データ管理 / バックアップ] を選択します。



2 バックアップする工事データが登録されているデータフォルダが選択されているかを確認し、[KSデータバンクへ転送] をクリックします。



3 ログインします。

ログイン

入力

4

5 入力

6

ログイン

キャンセル

[パスワードを変更・忘れた方はこちら](#)

プロキシ設定

4 バックアップする工事データを選択します。

KSデータバンクへ転送

開始

工事の選択

データ検索

データ選択

設定確認

ファイル作成

終了

工事を選擇してください。

全解除

NO.	工事フォルダ	工事名 1	工事名 2
1	DSS003	01_平成22年度 ○○号線道路改良工事	
2	DSS002	情報化施工 (TS出来形)	サンプルオペレーションデー
3	DSS001	施工計画書作成支援システム	サンプル工事
4	DSS000	平成○○年度	デキスパート サンプルデー

7 選択

8

次へ

5 関連ソフトウェアのデータを選択します。

KSデータバンクへ転送

開始

工事の選択

データ検索

データ選択

設定確認

ファイル作成

終了

データを選択してください。

全解除

NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	382.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援	18.39MB	168
4	X入	39.38KB	15
5	...	856.07KB	352
6	縦断図作成	99.42KB	2
7	横断面作成	99.84KB	3
8	出来形展開図作成	99.76KB	49
9	オーバーレイシステム	138.26KB	9
10	道路出来形	30.94KB	2
11	下水道出来形(本管勾配)	3.21KB	3

9 選択

10

戻る

次へ

データ容量 41.90MB (ファイル数 912個)
※関連ファイル (略図など) の容量は含まれておりません。

データ選択時のマークについて

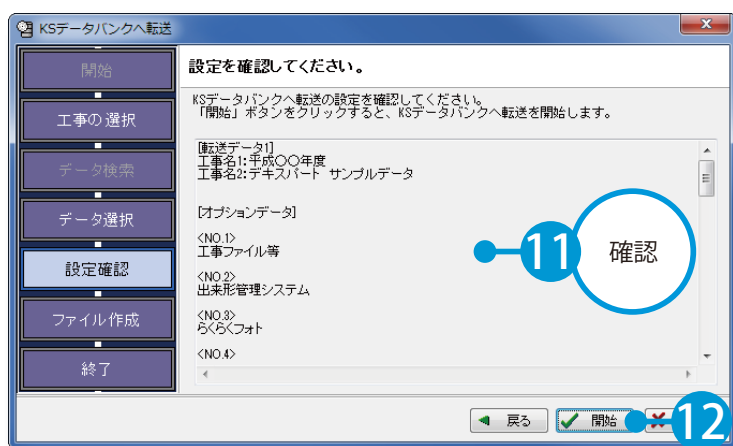
	NO.	システム名称	容量	ファイル数
	1	出来形管理システム	362.25KB	8
	2	写管屋	19.14MB	117
	3	電子納品支援システム	18.39MB	168
	4	XYH座標	33.38KB	15
	5	現場大将	856.07KB	352
	6	縦断図作成	99.42KB	2
	7	横断図作成	89.84KB	3

選択しているデータです。

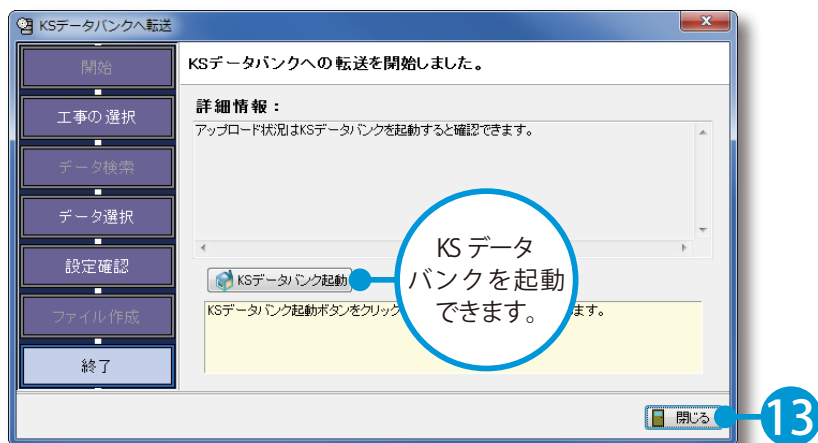
データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

選択した工事に関連ソフトウェアのデータが何も登録されていない場合にも表示されます。

6 設定内容を確認します。



7 KS データバンクにバックアップできました。



工事データを合成する

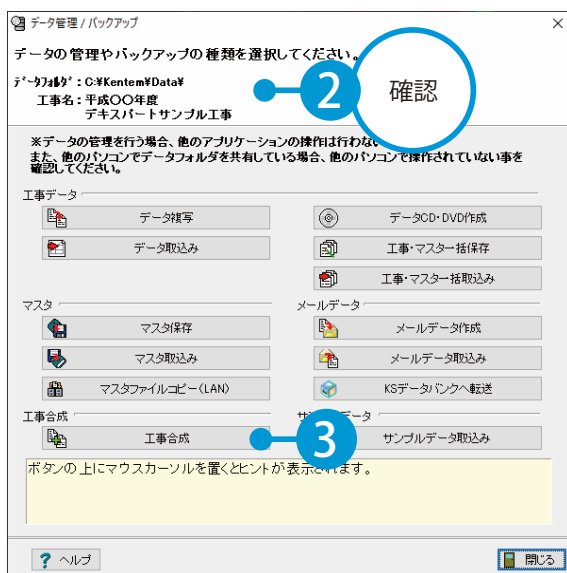
現在選択中の工事に他の工事のデータを合成します。

01 | 工事データを合成します。

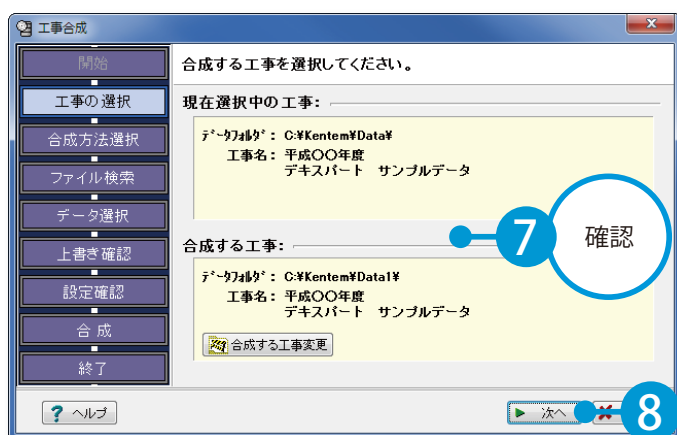
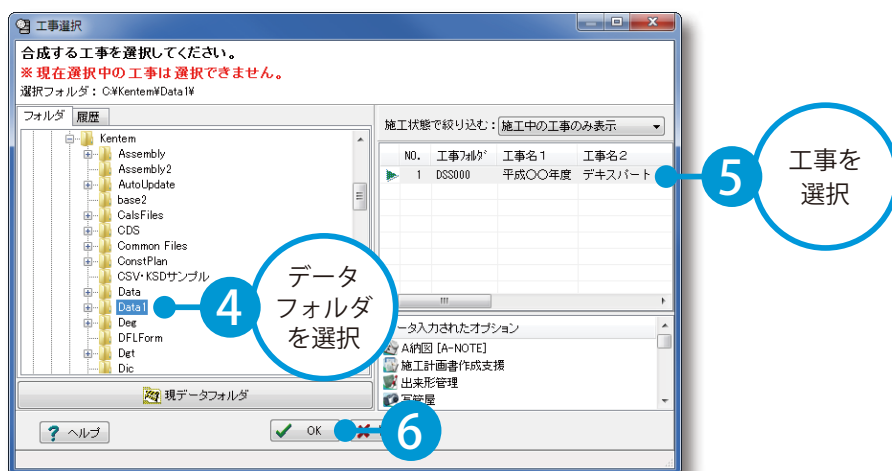
- 1 [データ管理 / バックアップ] を選択します。



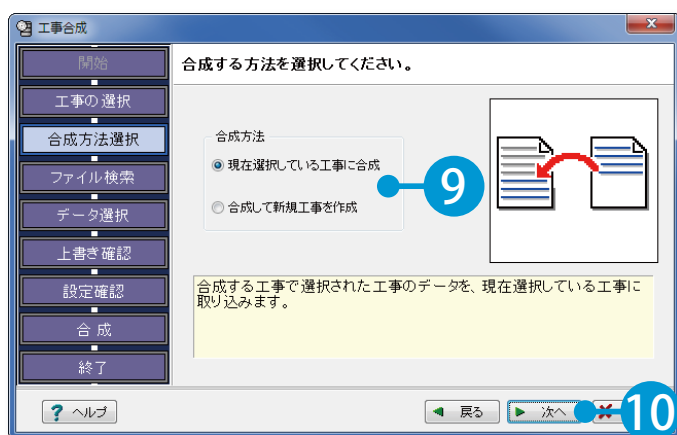
- 2 合成元となる工事データが登録されているデータフォルダが選択されているかを確認し、[工事合成] をクリックします。



3 合成する工事データを選択します。



4 合成方法を選択します。



合成方法について

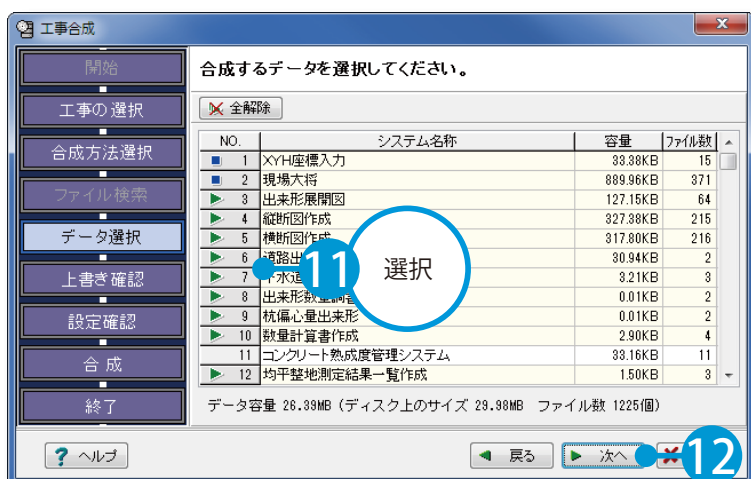
現在選択している工事に合成

合成する工事で選択した工事のデータを、現在選択している工事に取り込みます。

合成して新規工事を作成

現在選択している工事と合成する工事で選択した工事を合成し、新しい工事を作成します。

5 合成する関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

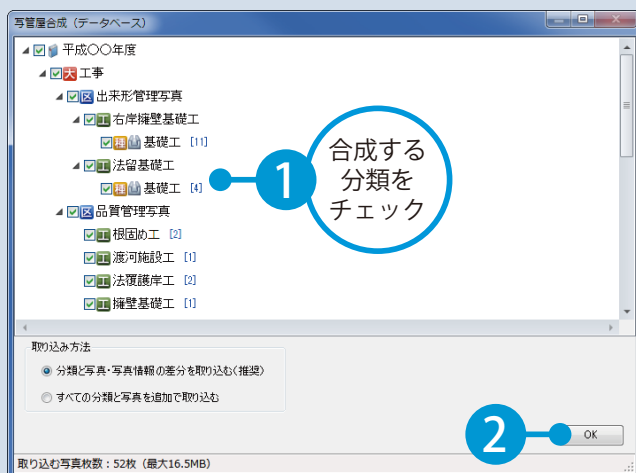
NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	362.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援システム	18.39MB	168
4	XYH座標	33.38KB	15
5	現場大將	856.07KB	352
6	縦断面図作成	99.42KB	2
7	横断面図作成	89.84KB	3

- ▶ 選択しているデータです。
- データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。
- ✖ 選択した工事に関連ソフトウェアのデータが何も登録されていない場合にも表示されます。
- ✖ 選択中の工事より新しいバージョンで作成されているため、合成することはできません。

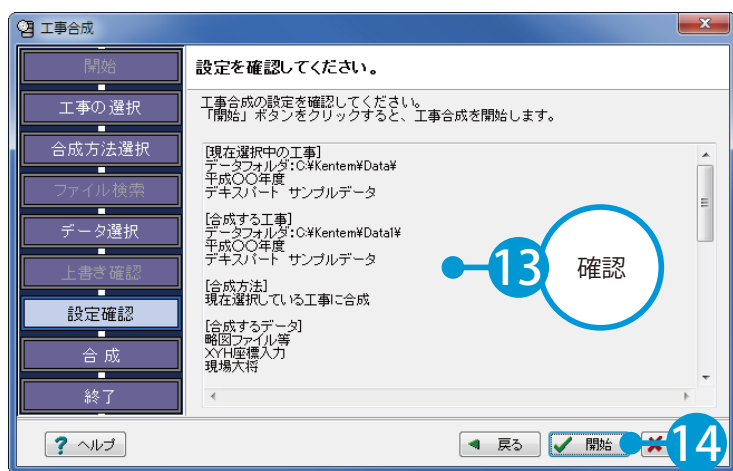
「写管屋（データベース）」を選択した場合

データ選択時に、「写管屋（データベース）」を選択した場合、写管屋合成（データベース）画面が表示されます。

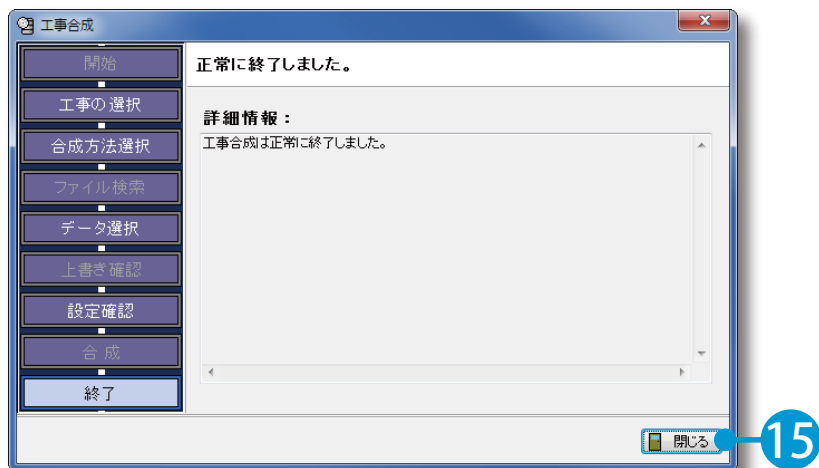
合成する分類を選択し、[OK] をクリックします。



6 設定内容を確認します。



7 工事を合成できました。

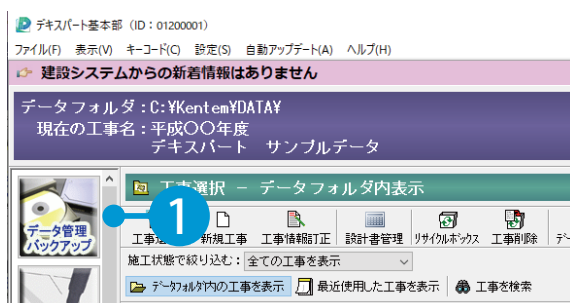


工事データ・マスタを一括保存する

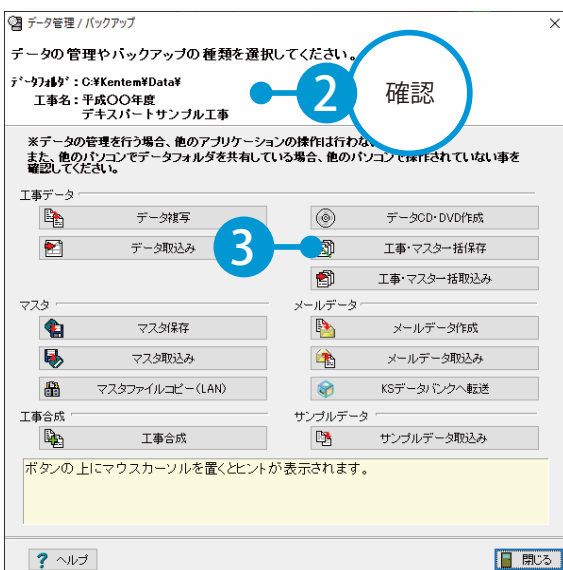
工事情報や各ソフトウェアで作成した工事データや、マスタデータを指定したフォルダーに一括で保存します。

01 | 工事データ・マスタを同時に保存します。

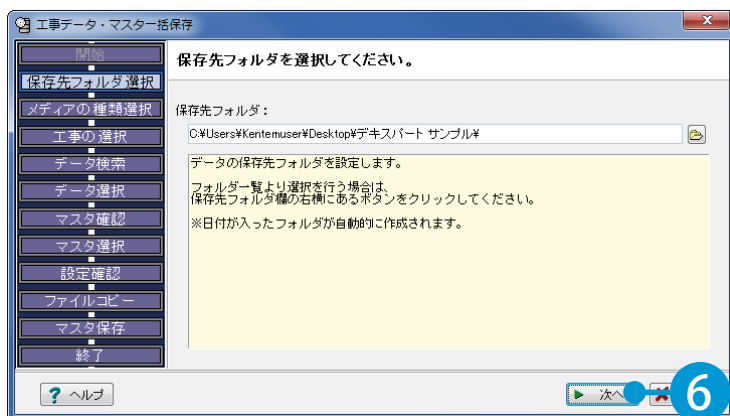
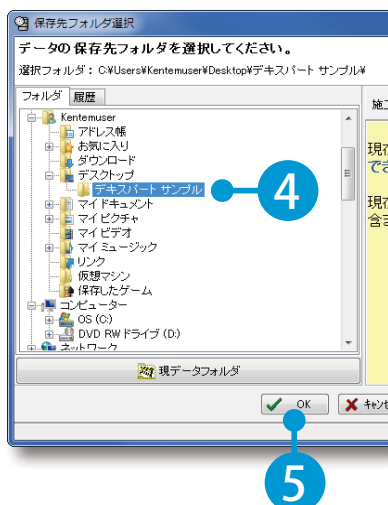
1 [データ管理/バックアップ] を選択します。



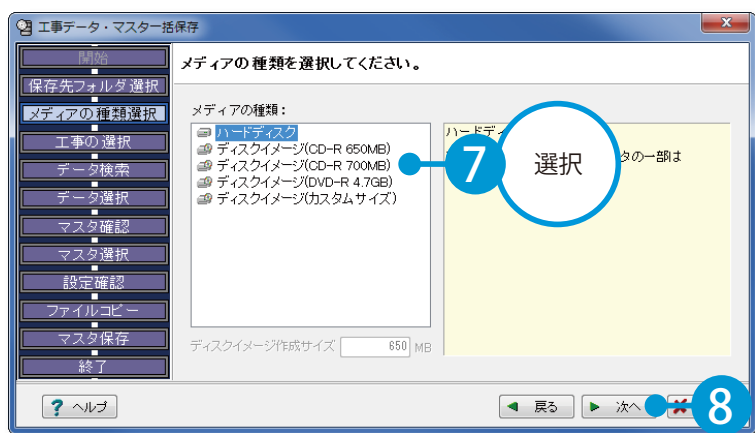
2 複写元のデータフォルダを確認し、[工事・マスタ一括保存] をクリックします。



3 データの保存先フォルダを選択します。



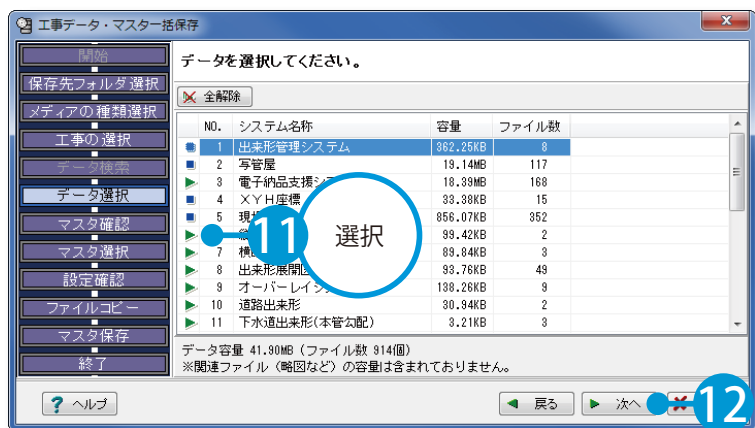
4 メディアの種類を選択します。



5 工事データを選択します。



6 関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

	NO.	システム名称	容量	ファイル数
	1	出来形管理システム	362.25KB	8
	2	写管屋	19.14MB	117
	3	電子納品支援システム	18.39MB	168
	4	X・Y・H座標	33.38KB	15
	5	現場大將	856.07KB	352
	6	縦断図作成	99.42KB	2
	7	横断図作成	89.84KB	3

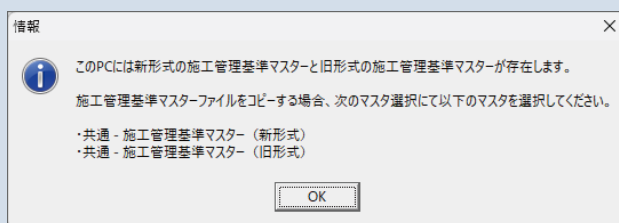
選択しているデータです。

データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

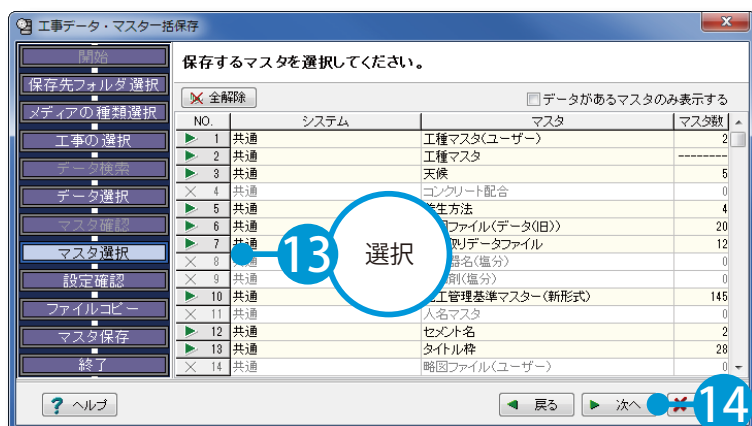
選択した工事に関連ソフトウェアのデータが何も登録されていない場合にも表示されます。

「写管屋（データベース）」を選択した場合

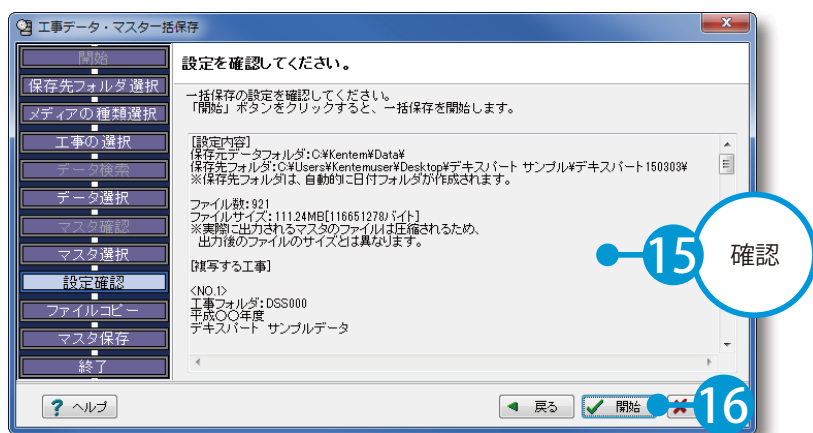
下記のメッセージが表示されます。[OK] をクリックし、次のマスタ選択で必要なマスタを選択します。



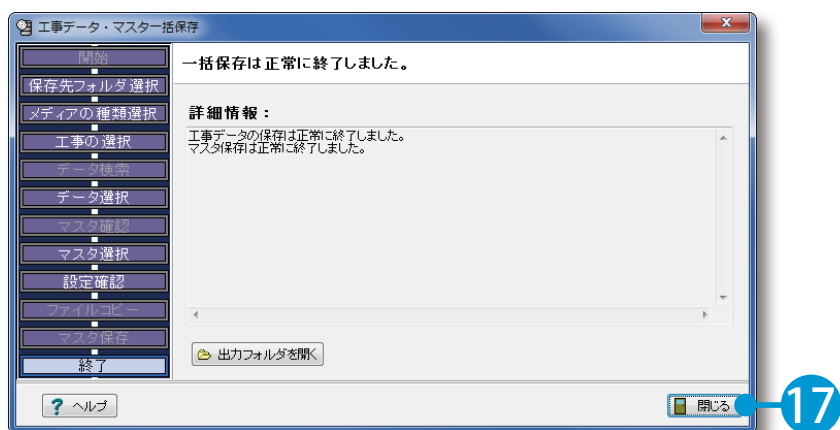
7 保存するマスタを選択します。



8 設定内容を確認します。



9 工事データ・マスタを一括で保存できました。

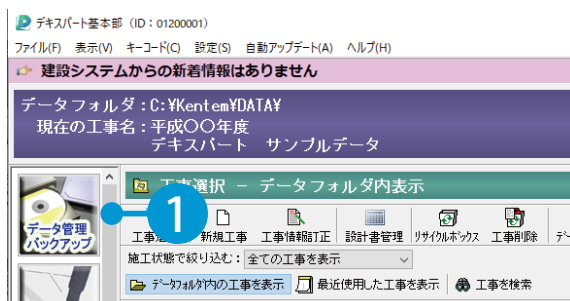


工事データ・マスタを一括取り込みする

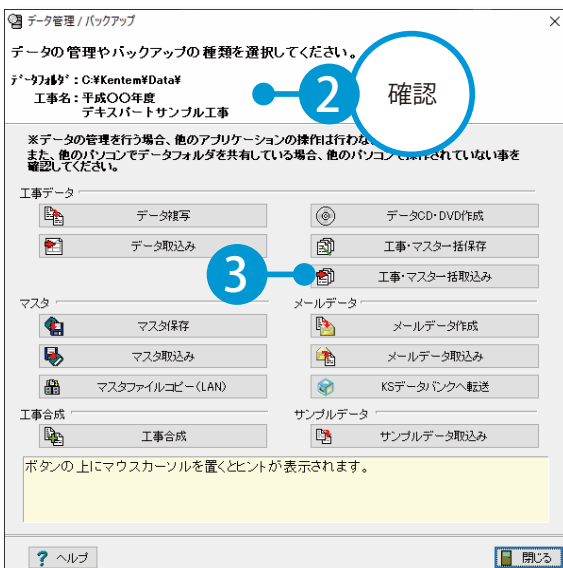
工事・マスター一括保存にて保存した工事データおよびマスタを一括で取り込みます。

01 | 工事データ・マスタデータを一括で取り込みます。

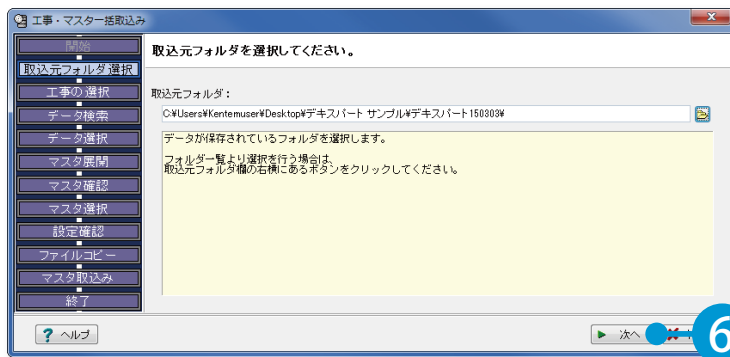
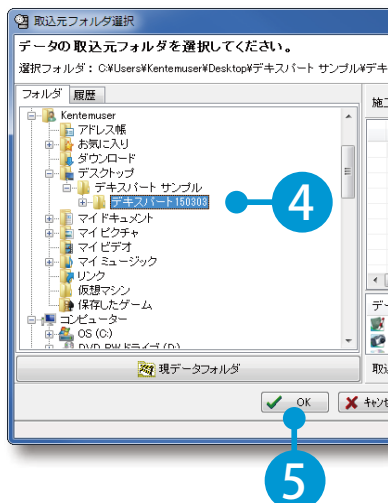
1 [データ管理/バックアップ] を選択します。



2 取り込み先のデータフォルダを確認し、[工事・マスター一括取込み] をクリックします。



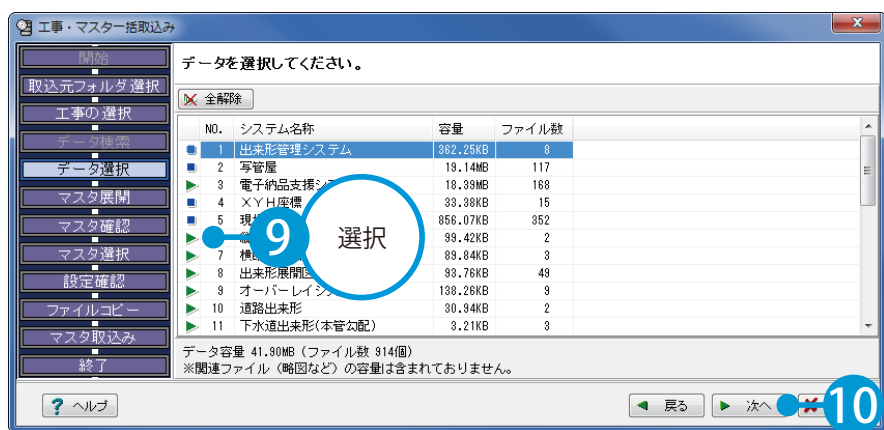
3 取り込み元のデータフォルダを選択します。



4 取り込む工事データを選択します。



5 取り込む関連ソフトウェアのデータを選択します。



データ選択時のマークについて

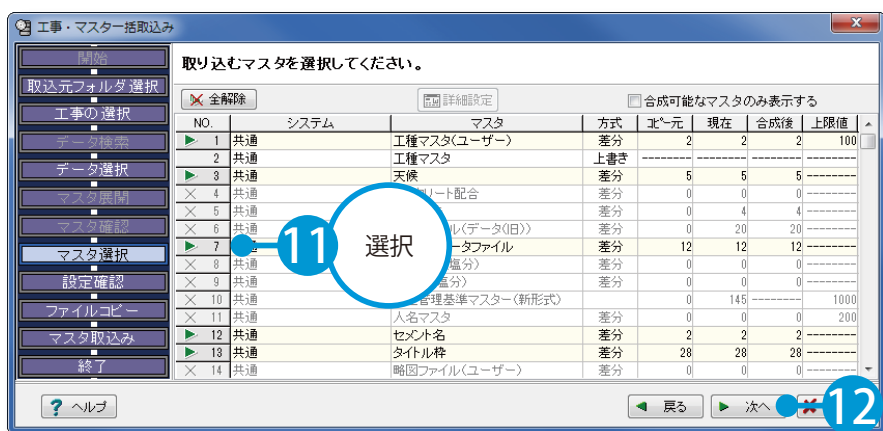
NO.	システム名称	容量	ファイル数
1	出来形管理システム	362.25KB	8
2	写管屋	19.14MB	117
3	電子納品支援システム	18.39MB	168
4	X-Y-H座標	33.38KB	15
5	現場大将	856.07KB	352
6	縦断面図作成	99.42KB	2
7	横断面図作成	89.84KB	3

▶ 選択しているデータです。

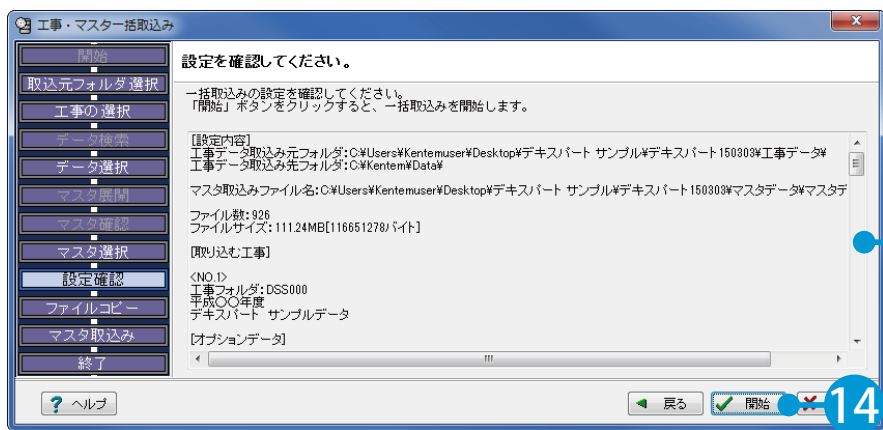
■ データが連動している場合にのみ表示されます。解除することはできません。

✖ 取込先のメディアサイズ、または空き容量より大きなファイルが含まれている場合にのみ表示されます。

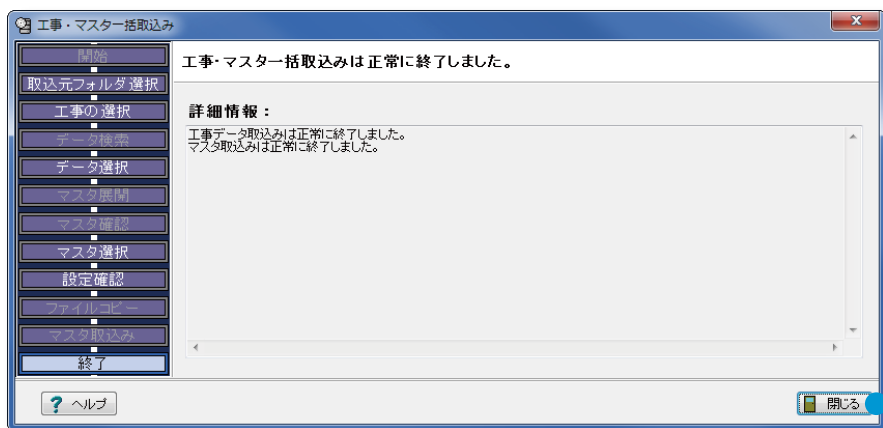
6 取り込むマスタデータを選択します。



7 設定内容を確認します。



8 工事データ・マスタデータが一括で取り込まれました。

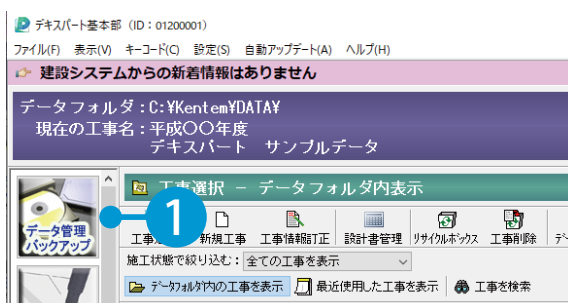


マスタデータを保存する

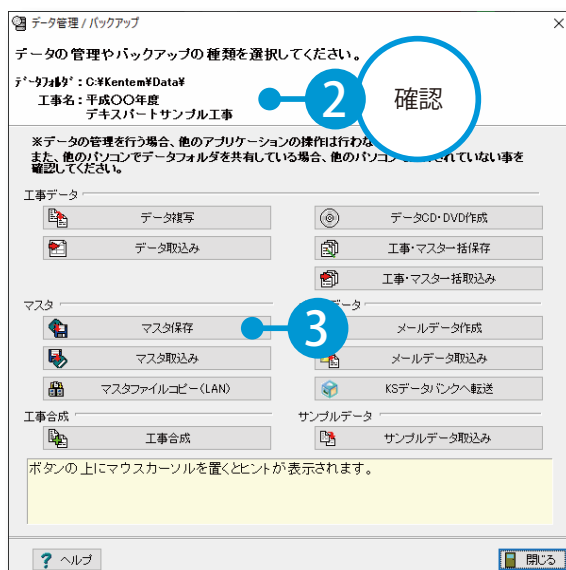
マスタデータを保存します。

01 | マスタデータを保存します。

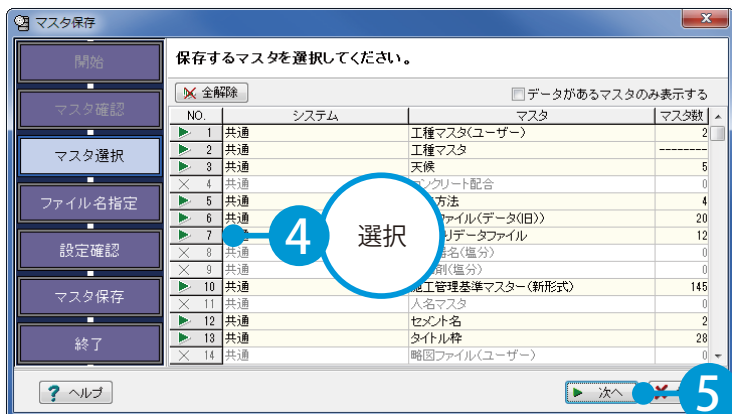
1 [データ管理/バックアップ] を選択します。



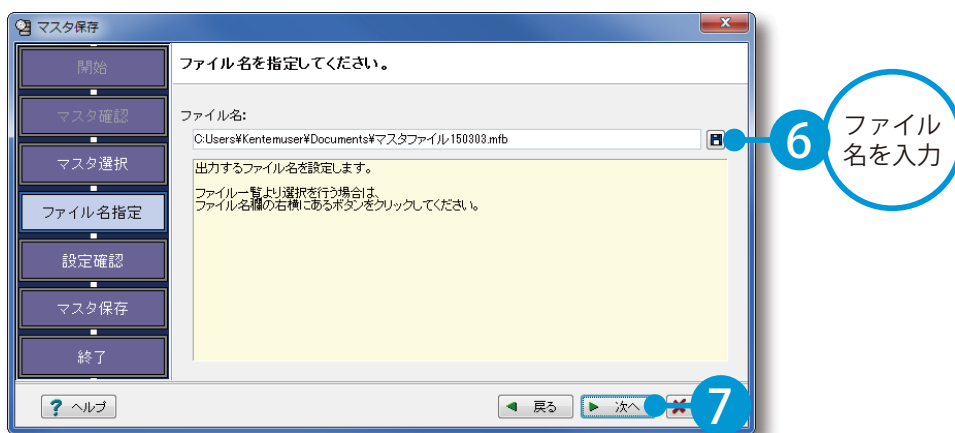
2 複写元となるデータフォルダが選択されているかを確認し、[マスタ保存] をクリックします。



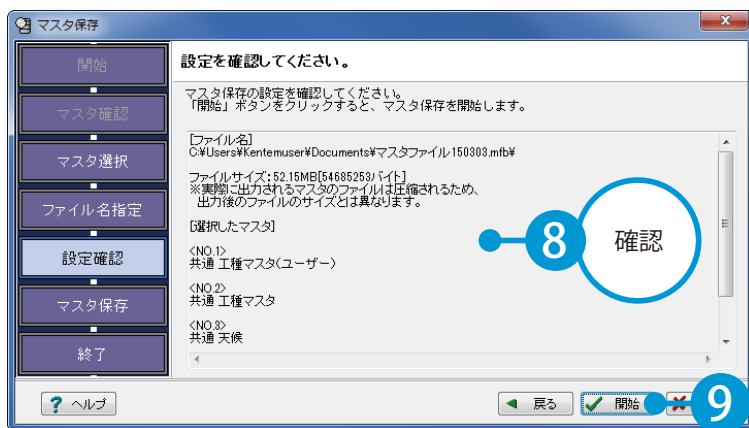
3 保存するマスタを選択します。



4 出力するファイル名を入力します。



5 設定内容を確認します。



6 マスタを保存できました。

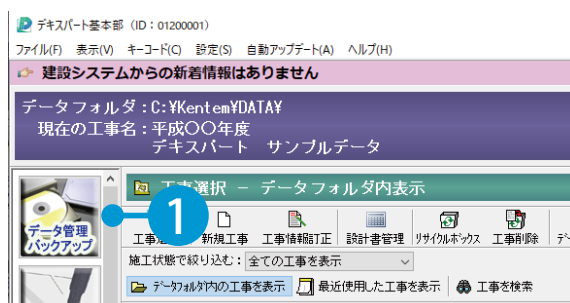


マスタデータを取り込む

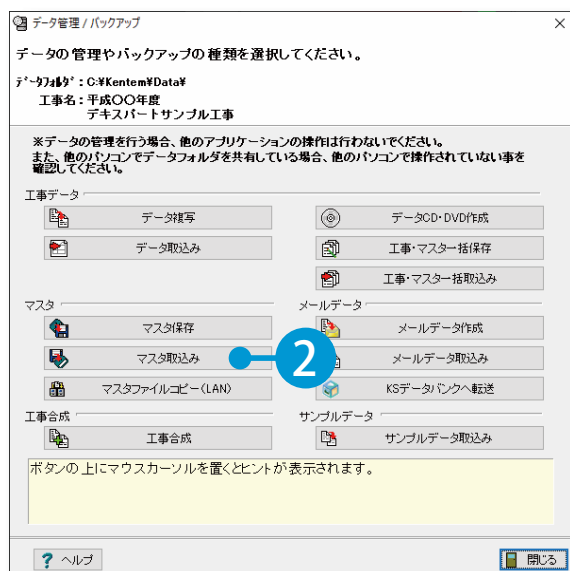
マスタ保存にて、保存したファイルを取り込み、既存のマスタと合成します。

01 | マスタデータを取り込みます。

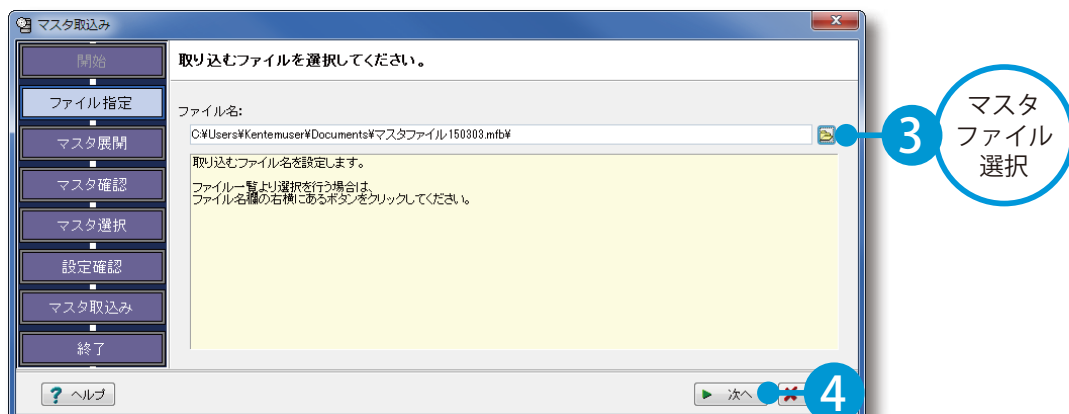
1 「データ管理/バックアップ」を選択します。



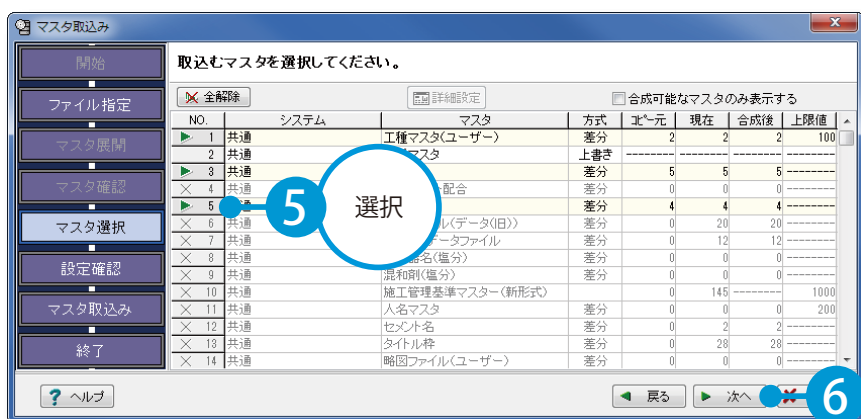
2 「マスタ取込み」をクリックします。



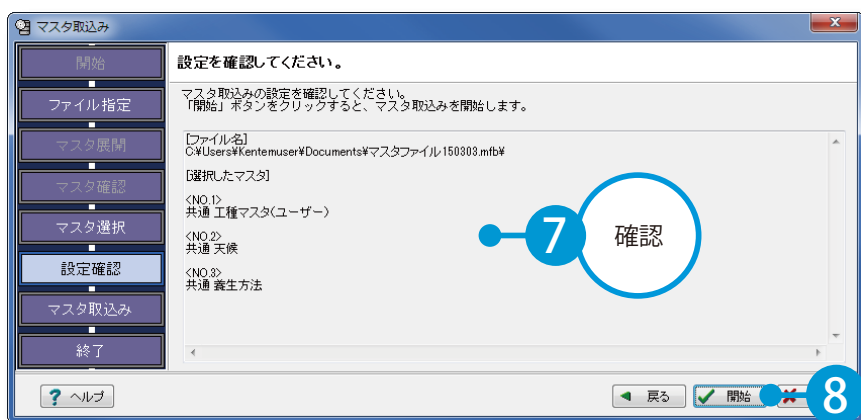
3 取り込むマスタファイルを選択します。



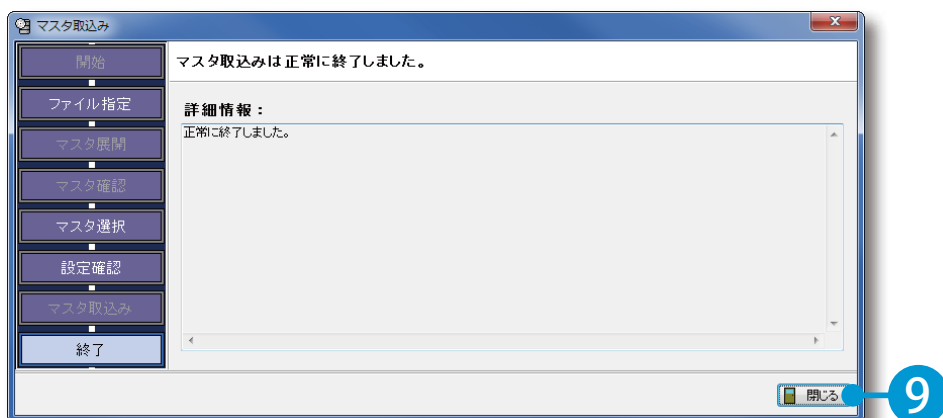
4 取り込むマスタデータを選択します。



5 設定内容を確認します。



6 マスタが取り込まれました。



ネットワーク上のマスタファイルをコピーする

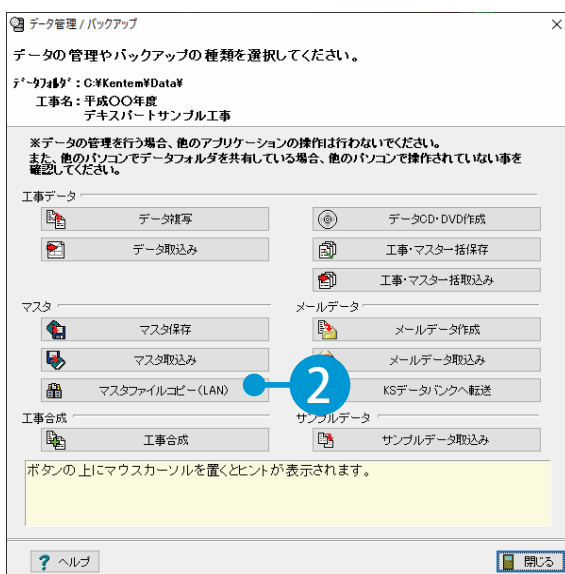
デキスパートがインストールされている LAN 上のパソコンからマスタファイルをコピーします。

01 | デキスパートがインストールされている LAN 上のパソコンからマスタファイルをコピーします。

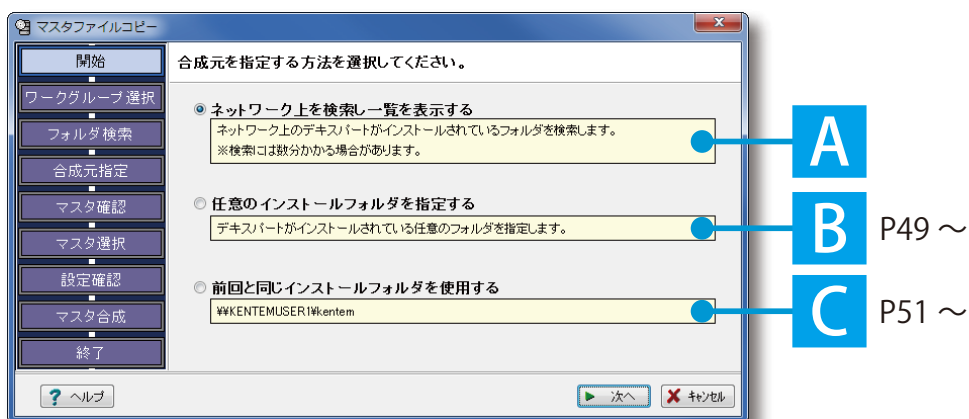
1 [データ管理 / バックアップ] を選択します。



2 [マスタファイルコピー (LAN)] をクリックします。

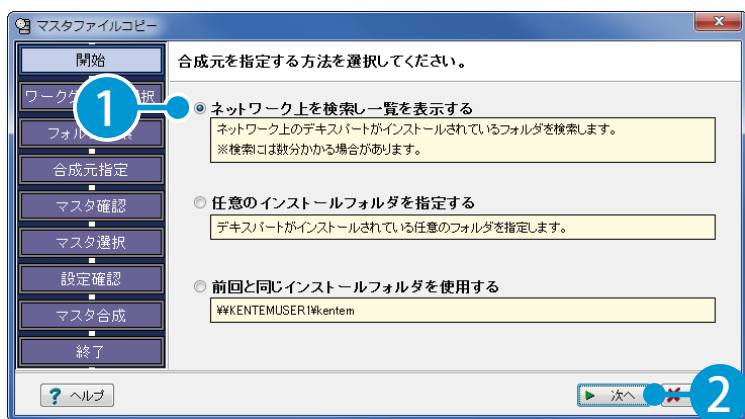


3 マスタデータのコピー元の指定方法を選択します。

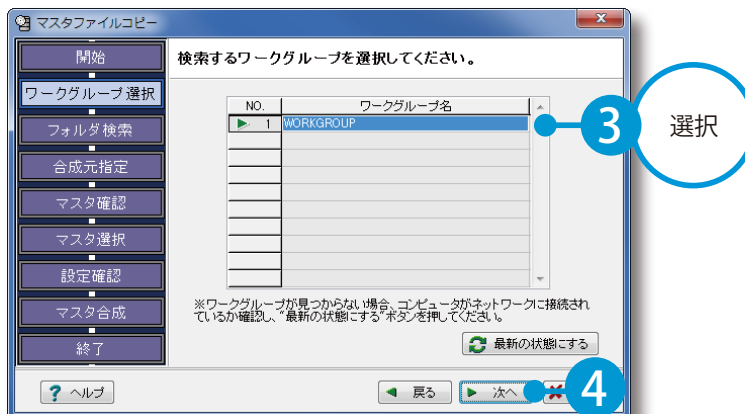


A デキスパートがインストールされている LAN 上のパソコンを検索し、マスタファイルをコピーする場合

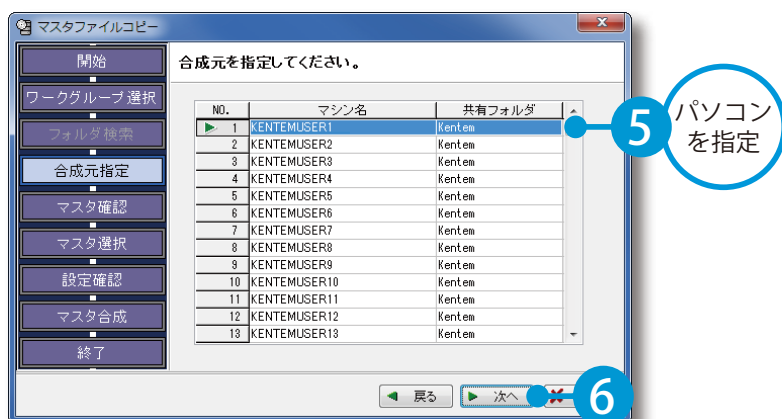
1 [ネットワーク上を検索し一覧を表示する] をクリックします。



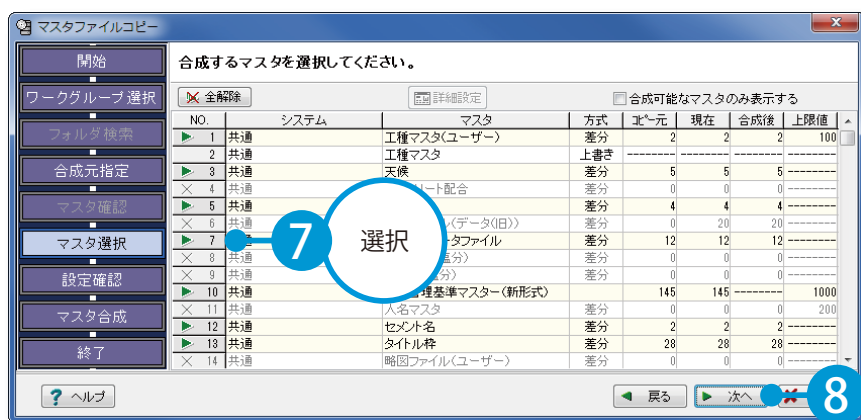
2 ワークグループを選択します。



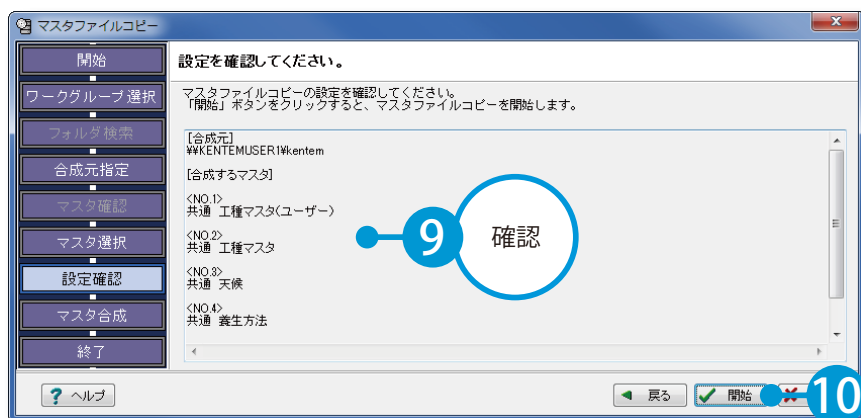
3 マスタデータをコピーするパソコンを指定します。



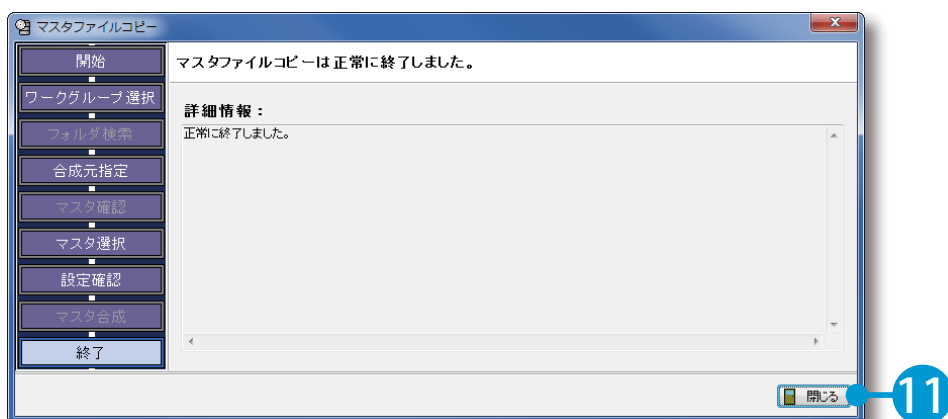
4 コピーするマスタデータを選択します。



5 設定内容を確認します。

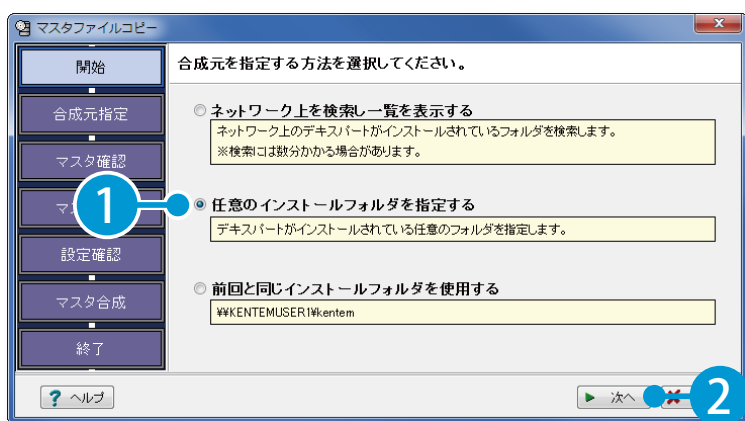


6 指定したパソコンのマスタデータをコピーできました。

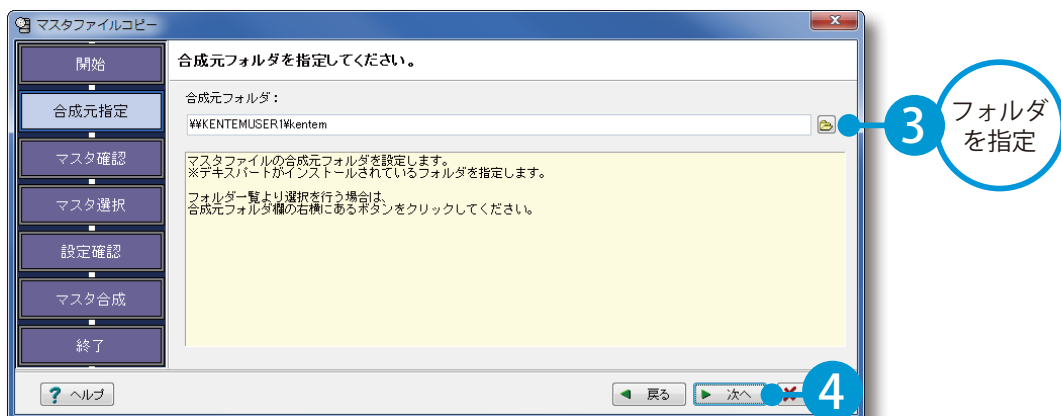


B デキスパートがインストールされている LAN 上の任意のパソコンを指定し、マスタファイルをコピーする場合

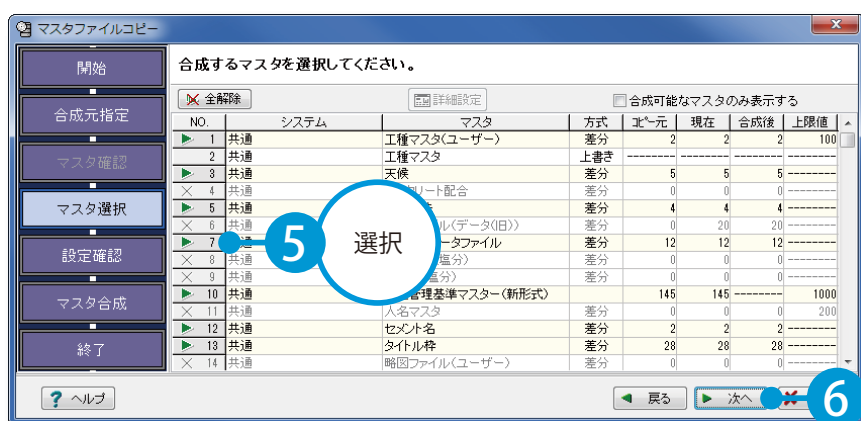
1 [任意のインストールフォルダを指定する] をクリックします。



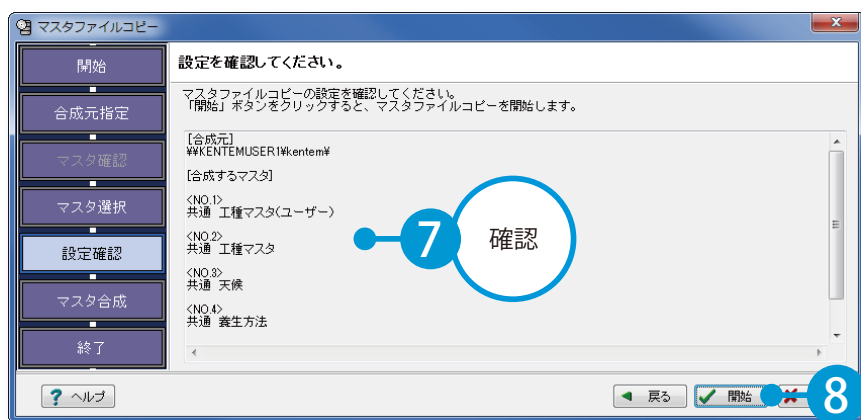
2 マスタデータをコピーするインストールフォルダを指定します。



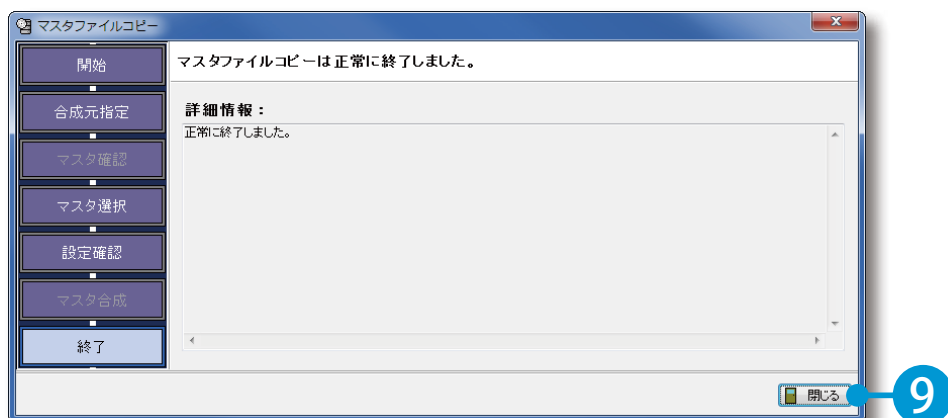
3 コピーするマスタデータを選択します。



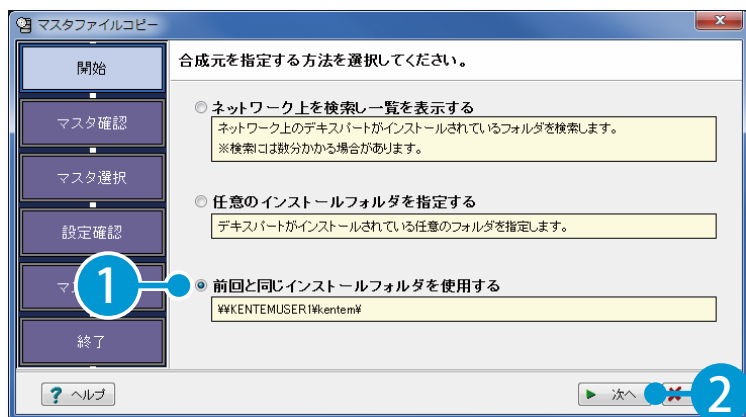
4 設定内容を確認します。



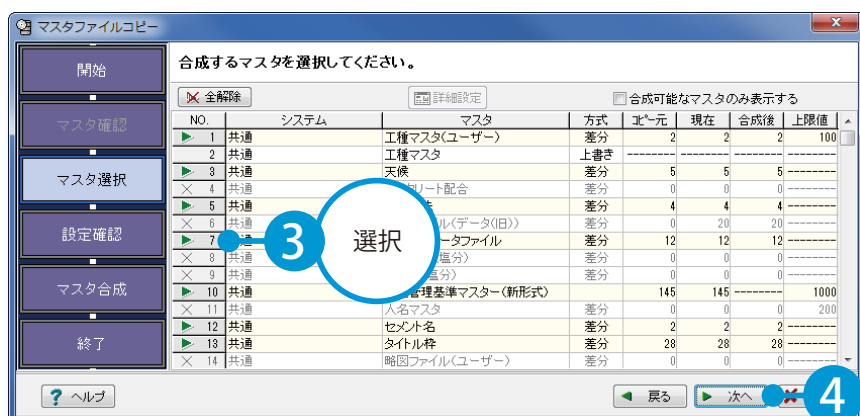
5 指定したインストールフォルダのマスタデータをコピーできました。



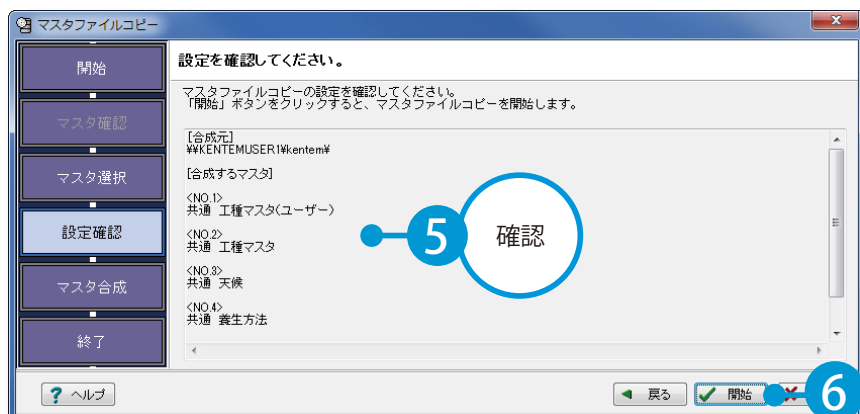
- 1 「前回と同じインストールフォルダを使用する」をクリックします。



- 2 コピーするマスタデータを選択します。



- 3 設定内容を確認します。前回と同じインストールフォルダのマスタデータをコピーできました。

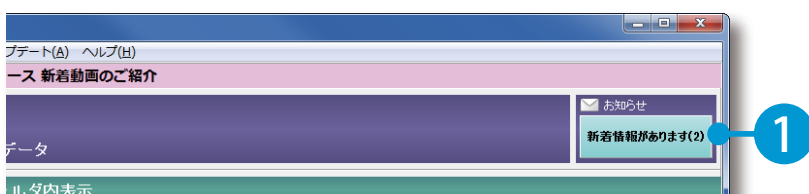


お知らせ・発注機関情報を確認する

リリース・バージョンアップ情報や、基準（案）の改訂情報などの発注機関情報を確認します。

01 | お知らせ画面を表示します。

- 1 メイン画面右上にある「新着情報があります」をクリックします。

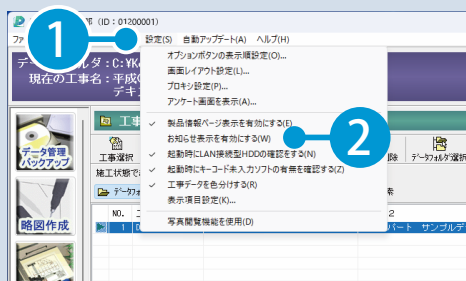


- 2 お知らせ画面が表示されます。



お知らせを表示しない場合

メイン画面のメニューバーから「設定」→「お知らせ表示を有効にする」のチェックをはずします。



保守期間満了が表示された場合

保守期間満了が近付いています。ボタンをクリックすると、弊社ホームページのマイページが表示されますので、保守更新の手続きをご確認ください。



※インターネット回線に接続され、保守サポート ID が入力されている必要があります。

リリースやバージョンアップ情報などの全般情報を確認する場合

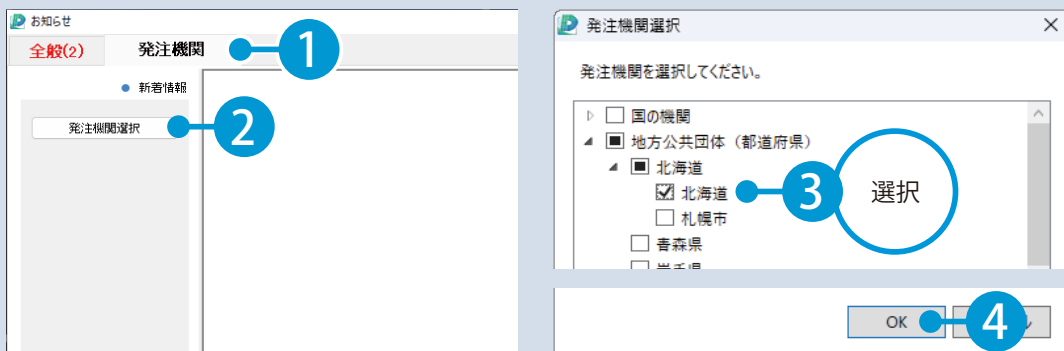
- 1 [全般] タブ→各リンクをクリックします。



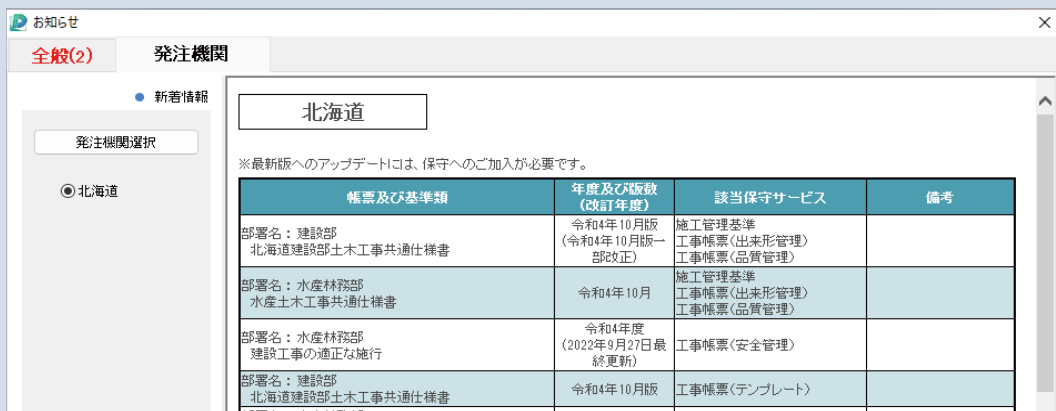
- 2 ブラウザが起動します。情報を確認してください。
※インターネット回線への接続が必要です。

基準(案)の改訂情報などの発注機関情報を確認する場合

- 1 [発注機関] タブをクリックし、[発注機関選択] をクリックします。
- 2 確認したい発注機関を選択します。
※発注機関は複数選択できます。



- 3 選択した発注機関の基準(案)改訂情報が表示されます。



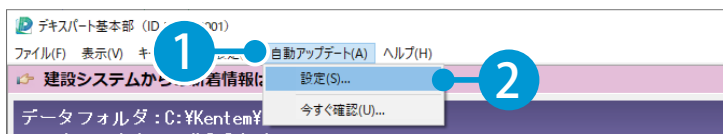
自動アップデートを設定する

自動アップデートサービスをご利用いただくことにより、デキスパートを常に最新の状態に保つことができます。

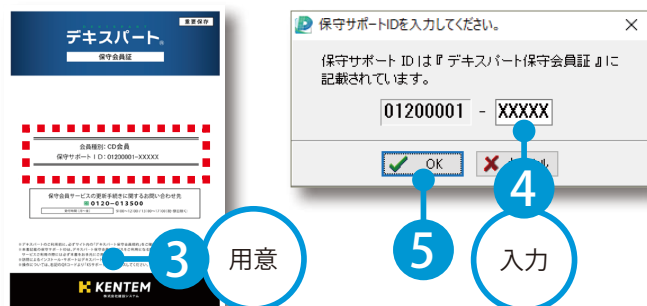
- ・自動アップデートサービスは、デキスパート保守会員様専用のサービスです。
- ・ご利用には、インターネット回線への接続が必要となります。
- ・自動アップデート中は、デキスパートがご利用できません。
- ・2008年12月10日リリース以降のソフトウェアが対象となります。
- ・パソコンにインストール・キーコード入力済みのソフトウェアのみ認識いたします。

01 | 自動アップデートサービスを利用できるように設定します。

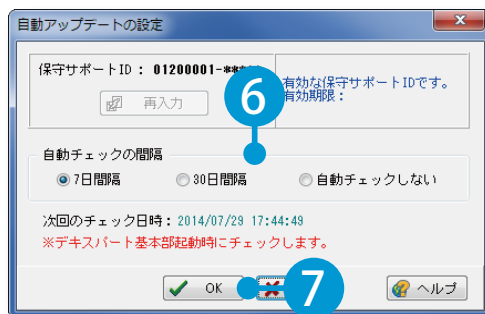
- 1 メイン画面のメニューバーから「自動アップデート」→「設定」をクリックします。



- 2 保守サポート ID を入力します。保守会員証をご用意ください。

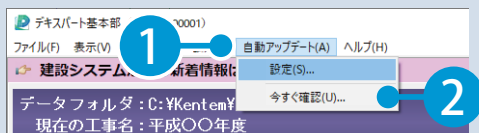


- 3 自動チェックの間隔を設定します。



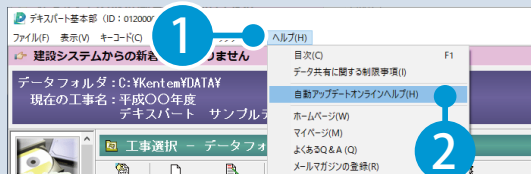
自動チェックの間隔に関係なく更新情報を確認したい場合

メイン画面のメニューバーから「自動アップデート」→「今すぐ確認」をクリックします。



より詳しい説明をご覧になる場合

メイン画面のメニューバーから「ヘルプ」→「自動アップデートオンラインヘルプ」をクリックします。



ソフトウェアのボタンを並び替える

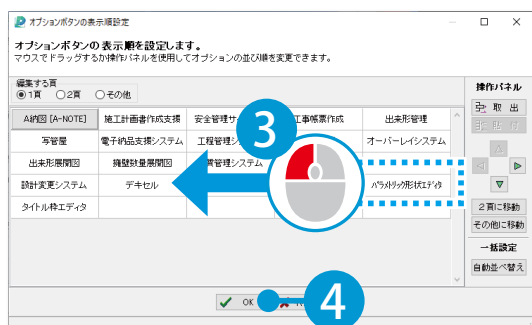
デキスパート基本部画面の下部にあるソフトウェアのボタン配置を並べ替えます。

01 | ソフトウェア（オプション）ボタンを並び替えます。

1 メイン画面のメニューバーから「設定」→「オプションボタンの表示順設定」をクリックします。



2 ドラッグで並び替えます。



ソフトウェア（オプション）ボタンの色について



現在選択している工事にデータが登録されているソフトウェア



インストールはされているが、現在選択している工事にデータが登録されていないソフトウェア



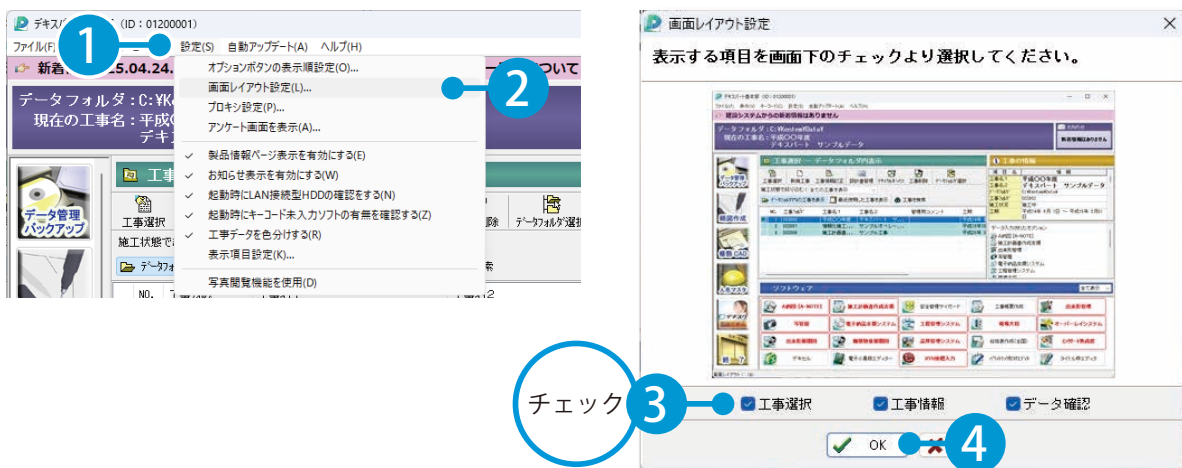
インストールされていないソフトウェア

画面のレイアウトを変更する

デクスパート基本部画面のレイアウトを変更します。

01 | メイン画面のレイアウトを変更します。

- 1 メイン画面のメニューバーから「設定」→「画面レイアウト設定」をクリックします。
- 2 表示する項目をチェックして、レイアウトを変更します。



メイン画面の名称



- 1 工事選択 デクスパート基本部画面に、工事選択 (工事一覧) を表示します。
- 2 工事情報 デクスパート基本部画面に、選択している工事の情報を表示します。
- 3 データ確認 デクスパート基本部画面に、選択している工事にデータが登録されているソフトウェア名を表示します。

ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe KK（アドビ株式会社）の商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

❓ ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにあるショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787
2025 年 8 月 25 日 発行

このマニュアルは、デキスパート基本部 Ver.7.21.00 の画面で作成しています。